

## 2021 年 2 月分新聞書評



### ただいま収蔵品整理中!〜学芸員さんの細かすぎる日常〜

鷹取 ゆう 著

河出書房新社

博物館の展示の裏では、どのように資料を収集しているのか、管理しているのか、調査しているのか。郷土資料館での資料整理の経験をもとに、学芸員の日常をマンガで紹介する。

2021:1./ 127p

978-4-309-29125-3

本体 ¥1,100[税込]



産経新聞 2021/02/06



### パンダ自身〜ありがとう!シャンシャン〜(光文社女性ブックス 女性自身 MOOK vol.185)

企画出版室 編

光文社

われらがアイドル上野動物園のシャンシャンの激カワ写真を紹介。ほか、神戸のお嬢様・タンタンの思い出振り返りアルバム、アドベンチャーワールドの BIG ファミリーの絆などを収録。『女性自身』掲載記事を再編集。

2020:12./ 128p

978-4-334-84345-8

本体 ¥1,200[税込]



産経新聞 2021/02/06



### アートがわかると世の中が見えてくる

前崎信也 著

IBCパブリッシング

生まれ持った感性は美術を理解するためには必要ない。日本の美術を理解するために必要な「美術史の知識」「世界から見た日本美術の価値」「美術界の問題点」など、一般的には語られてこなかったことをやさしく解説する。

2021:1./ 207p

978-4-7946-0649-5

本体 ¥1,540[税込]



産経新聞 2021/02/06



### 日本を貶めるフェイクニュースを論破する!

JapanForward 編集部 編

JAPAN Forward 編集部 著

PHP研究所

『ニューヨーク・タイムズ』『ワシントン・ポスト』など欧米の有力メディアは、いかなる意図、目的があって日本叩きを続けるのか。慰安婦、捕鯨、靖国、女性差別などの真実を、根拠を明示しながら、鋭くわかりやすく解説する。

2021:1./ 230p,31p

978-4-569-84854-9

本体 ¥1,408[税込]



産経新聞 2021/02/07

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 3 月時点での税込み価格です。



### ぼくがアメリカ人をやめたワケ

ロジャー・パルバース／大沢 章子 著

集英社インターナショナル

「最高にして最強の国」アメリカを飛び出し、日本に辿りつき、ついには国籍を捨ててオーストラリア人になった作家の自伝。宮沢賢治、石川啄木への熱い想い、井上ひさし、大島渚たちとのエピソードを交えながら縦横無尽に綴る。

2020:11./ 317p

978-4-7976-7393-7

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/02/07



### 「恋と革命」の死 岸上大作(夭折の系譜 1)

福島泰樹／岸上大作 著

皓星社

学生歌人・岸上大作没後 60 年に際し、岸上のあらいざらいを曝け出した「岸上大作論」の集大成。歌集「意志表示」(抄)、絶筆「ぼくのためのノート」も収録。

2020:12./ 300p

978-4-7744-0720-3

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/02/07、東京・中日新聞 2021/02/28



### 大阪のお母さん～浪花千栄子の生涯～(潮文庫 は-3)

葉山由季 著

潮出版社

貧しいがゆえに読み書きが出来ず、親に見捨てられ、丁稚奉公ではいじめの的に。それでも縁あって女優の道へ進むが、試練は幾度となく訪れ…。人々から“大阪のお母さん”として愛された、女優・浪花千栄子の生涯を描く。

2020:11./ 332p

978-4-267-02262-3

本体 ¥803〔税込〕



産経新聞 2021/02/13



### 英語独習法(岩波新書 新赤版 1860)

今井 むつみ 著

岩波書店

英語の達人をめざすなら高い語彙力が不可欠。オンラインツールを利用した合理的な実践的勉強法を紹介する。2018 年度の NHK ラジオ講座「入門ビジネス英語」のテキストに掲載したエッセイを再編成し、大幅に加筆したもの。

2020:12./ 8p,271p

978-4-00-431860-6

本体 ¥968〔税込〕



産経新聞 2021/02/13、毎日新聞 2021/02/13



### 回想イトマン事件～闇に挑んだ工作 30 年目の真実～

大塚 将司 著

岩波書店

巨額のカネがバブル崩壊と共に闇に消えた、戦後最大の経済事件、イトマン事件。それを暴いた記者と住友銀行の内部告発者によるマル秘工作、「Letter」とは？ 告発の闘いの軌跡を詳細な日記やメモを元に語り下ろす。

2020:12./ 7p,305p

978-4-00-061439-9

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/02/14



### コラムニストになりたかった

中野 翠 著

新潮社

映画とおしゃれと雑誌が好きで、ハヤリモノに興味津々の女の子が、いつしかコラム連載を持ち…。1969 年から現在までの風俗、流行、映画、雑誌の変遷を辿りながら、自身の半生を振り返る。『小説新潮』連載を加筆し書籍化。

2020:11./ 211p

978-4-10-419303-5

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/02/14



### 境界線

中山 七里 著

NHK出版

突然の妻の訃報を受けた宮城県警捜査一課警部・笹篠は現場へ急行するが、そこで目にしたのは別人の遺体で...。「護られなかった者たちへ」に連なる「宮城県警シリーズ」の続編。WEB『NHK 出版 本がひらく』連載を書籍化。

産経新聞 2021/02/14

2020:12./ 300p

978-4-14-005715-5

本体 ¥1,760〔税込〕



### ルースコレクターズ・マニュアル〜宝石を楽しむ〜

なかがわ 著

創元社

ジュエリーになる前の、原石を研磨しただけのカット石「ルース」。その底知れぬ魅力を紹介し、店頭・通販での品質の見極め方や、コレクター仲間の増やし方、海外買い付け事情を伝える。初級コレクターに役立つ情報が満載。

産経新聞 2021/02/14

2020:11./ 150p

978-4-422-44024-8

本体 ¥1,760〔税込〕



### 桃太郎のきびだんごは経費で落ちるのか?〜日本の昔話で身につく税の基本〜

高橋創／井上マサキ 著

ダイヤモンド社

きびだんごは経費になるのか? 竜宮城にいるあいだ、税金を滞納するとどうなる...? 桃太郎や浦島太郎など、思わぬ事態に右往左往する昔話の登場人物たちの姿を見守るうちに、自然と税金の知識が身につく本。

産経新聞 2021/02/14

2021:1./ 278p

978-4-478-11036-2

本体 ¥1,540〔税込〕



### とりあえずまちましよう

五味 太郎 著

絵本館

「正道日本料理フルコース」が出てくるまで、手術台の患者さんの麻酔がきくまで、電車がくるまで...。とりあえず「まちましよう」と言ってしまう愉快的なシチュエーションが盛りだくさんのユーモア絵本。

産経新聞 2021/02/14

2020:9./ 24p

978-4-87110-447-0

本体 ¥1,430〔税込〕



### 別府

芹沢 高志 著

P3 art and environment

芸術祭ディレクターが、幻想的な風景や人々、出来事に導かれ、次回芸術祭のコンセプトの輪郭が形を成していく。環境計画からアートの現場に越境してきた著者が、虚実織り交ぜ綴った芸術祭のコンセプトブック。

産経新聞 2021/02/14

2020:11./ 190p

978-4-904965-13-9

本体 ¥1,760〔税込〕



### 復興建築〜モダン東京をたどる建物と暮らし〜(味なたても探訪)

トウヴァージンズ

関東大震災後に生まれた「モダン東京」の街と建物から、都市の熱気、人々の思いが見えてくる。変わり続ける東京の“原点”を知る、1920?30年代の復興建築 130 以上を収録する。建築 MAP 付き。

産経新聞 2021/02/14

2020:12./ 191p

978-4-908406-64-5

本体 ¥2,090〔税込〕





### 城郭考古学の冒険(幻冬舎新書 せ-4-1)

千田 嘉博 著  
幻冬舎

織田信長・明智光秀・松永久秀らの城づくりからわかる天下統一と戦国大名の実像、石垣・堀・門の見方、世界の城との意外な共通点…。「城」を資料として歴史を研究する城郭考古学の成果とその可能性を第一人者が語りつくす。

産経新聞 2021/02/20

2021:1./ 297p  
978-4-344-98611-4  
本体 ¥1,034〔税込〕



### そして、ニューヨーク～私が愛した文学の街～

鈴木 ふさ子 著  
鳥影社

カポーティ「ティファニーで朝食を」、ニール・サイモン「おかしな二人」…。ニューヨークほど文学や映画の舞台となった場所があるだろうか。なぜ、ニューヨークは人を惹きつけるのか。その秘密を文学と映画から解き明かす。

産経新聞 2021/02/20

2021:3./ 404p,37p  
978-4-86265-864-7  
本体 ¥2,090〔税込〕



### FUTURE EDUCATION!～学校をイノベーションする 14 の教育論～

教育新聞 著  
岩波書店

ノーベル賞受賞者が考える教育の究極目的、スタディサプリで変わる学び…。教育界のイノベーターたちが、革新的な理論と実践手法、最先端の取り組みや、教育者としての哲学、苦悩を語る。『教育新聞』電子版掲載を書籍化。

産経新聞 2021/02/21

2020:11./ 12p,194p  
978-4-00-061436-8  
本体 ¥1,980〔税込〕



### 小隊

砂川 文次 著  
文藝春秋

北海道にロシア軍が上陸し、第二次大戦後初の地上戦を経験することになった日本。自衛隊の3尉・安達は自らの小隊を率い、ロシア軍と対峙し、元自衛官の著者が日本人の知らない戦場を克明に描く。『文学界』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/02/21

2021:2./ 157p  
978-4-16-391338-4  
本体 ¥1,650〔税込〕



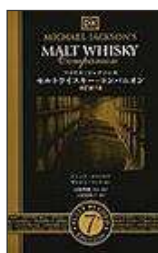
### 村上春樹の動物誌(早稲田新書 003)

小山 鉄郎 著  
早稲田大学出版部

村上春樹のデビュー作「風の歌を聴け」から「猫を棄てる」までを貫く核心のテーマとは。文芸記者の著者が、動物を手がかりに村上文学の森に分け入る。村上春樹のインタビューも収録。共同通信社配信の連載を大幅加筆し新書化。

産経新聞 2021/02/21

2020:12./ 269p  
978-4-657-20014-3  
本体 ¥990〔税込〕



### モルトウイスキー・コンパニオン 改訂第7版

マイケル・ジャクソン 著  
パイインターナショナル

世界を代表するウイスキー・ライターが著したモルトウイスキーのバイブルを改訂。約600種類の新ボトリングのテイステイングを含む、約800ものモルトと蒸留所名などの情報をアップデートする。

産経新聞 2021/02/21

2021:1./ 448p  
978-4-7562-5390-3  
本体 ¥3,850〔税込〕







### あかちゃんからの かぞくの医学～おうちでケアする決定版～

本間真二郎 著  
クレヨンハウス

栃木県・鳥山で農的な暮らしをしながら 2 児を育てる小児科医が最終的にたどり着いたのは、自然なお手当てだった。感染症にも負けない免疫力・抵抗力・解毒力がつくホームケアの知恵を紹介。『月刊クーヨン』掲載等を再構成。

2021:1./ 203p  
978-4-86101-390-4  
本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2021/02/21



### コロナと潜水服

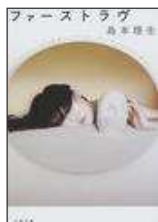
奥田 英朗 著  
光文社

5 歳の息子には、新型コロナウイルスが感知できる? パパがとった究極の対応策とは...。表題作をはじめ、愛と奇想の全 5 作を収録する。作中の登場曲が視聴できる QR コード付き。『小説宝石』掲載を書籍化。

2020:12./ 253p  
978-4-334-91377-9  
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/02/21、読売新聞 2021/02/28



### ファーストラヴ(文春文庫 し 54-3)

島本 理生 著  
文藝春秋

父親殺害の容疑で逮捕された女子大生・環菜。彼女はなぜ、そうしなければならなかったのか。臨床心理士・由紀は、彼女の抱える秘密に迫る。そして裁判は意外な結末を迎え...。NHK BS プレミアムドラマの原作。

2020:2./ 367p  
978-4-16-791435-6  
本体 ¥781〔税込〕



産経新聞 2021/02/27



### 零から0へ

まはら 三桃 著  
ポプラ社

戦後、一家を支えるために大学をやめ鉄道総局の研究所に入所した聡一。そこには、戦闘機の設計や製作に関わり、多くの命を奪う結果を生んだことを悔いる軍出身の技術者たちがいた。聡一は彼らとともに新幹線の開発に没頭し...

2021:1./ 306p  
978-4-591-16907-0  
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/02/27



### 鳴かずのカッコウ～An Offbeat Spy Novel～

手嶋 龍一 著  
小学館

ヒトなし、カネなし、武器もなし! 最小で弱小の情報機関・公安調査庁に迷いこんだマンガ大好きオタク青年が、国際諜報戦争で大金星!? 脱力系インテリジェンス小説。『STORY BOX』連載を加筆修正し単行本化。

2021:3./ 303p  
978-4-09-386603-3  
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/02/28



### 日曜日は青い蜥蜴

恩田 陸 著  
筑摩書房

無二の言葉で果てなき世界の「地図」を描く。小説家・恩田陸が、本、舞台、映画、物語などについて綴ったエッセイ集。「土曜日は灰色の馬」の続編。

2020:11./ 235p  
978-4-480-81551-4  
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/02/28



### 新しい「日本の歩き方」～まだまだ知らない魅力がいっぱい、旅で元気になろう～

山谷えり子 著  
扶桑社

旅の醍醐味は、訪れる者も迎える者も互いに楽しみ、得るものがあること。旅を通してたくさんのものを得てきた著者が、日本国内の旅の思い出を語り、これからの時代の旅のしかた、旅のあり方について提言する。

2021:1./ 239p  
978-4-594-08692-3  
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/02/28



### 失われゆく仕事の図鑑～「アレ」も「コレ」もヒトが手で創り、動かしていた時代の記録～

永井 良和／高野 光平 著  
グラフィック社

キャバレーのホステス、アイスキャンデー売り、鋳掛屋、ネオン管職人…。121 の消えた仕事・消えつつある仕事を、写真やイラストとともに紹介する。消えゆく仕事に就いていた人の語りなども掲載。

2020:12./ 183p  
978-4-7661-3486-5  
本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/02/28



### 中東を動かす帰属意識～近くの隣人より、遠くの血縁～

林 幹雄 著  
ミルトス

今後の世界を読み解く鍵は中東にある。「中東・北アフリカ」の社会事情と、その住民の多くが帰依するイスラームについて、著者の経験を踏まえて概説する。

2021:1./ 258p  
978-4-89586-055-0  
本体 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2021/02/28



### 北条五代<上>

火坂雅志 著  
朝日新聞出版

早雲、氏綱、氏康、氏政、氏直。100 年にわたる興亡を描く。火坂雅志急逝による未完の大作を伊東潤が引き継いで完結。上は、火坂雅志による第 1 部と伊東潤による第 2 部第 1 章を収録する。『小説トリッパー』連載を加筆修正。

2020:12./ 397p  
978-4-02-251737-1  
本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 北条五代<下>

火坂雅志 著  
朝日新聞出版

信長、謙信、信玄、家康、秀吉。戦国群雄との存亡をかけた戦い！火坂雅志急逝による未完の大作を伊東潤が引き継いで完結。下は、伊東潤による第 2 部第 2?5 章、巻末エッセイを収録する。『小説トリッパー』連載を加筆修正。

2020:12./ 423p  
978-4-02-251738-8  
本体 ¥2,145〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 絶対はずさないおうち飲みワイン(朝日新書 798)

山本昭彦 著  
朝日新聞出版

「新しい生活」には「新しいワインのおうち飲み」を！ブドウ品種と産地、テイスティングの基本、料理との相性などを解説。5 ステップで超初心者でも、たちまちワイン上級者になれる。絶対はずさない 50 本リスト付き。

2021:1./ 236p  
978-4-02-295108-3  
本体 ¥891〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 江戸のコレラ騒動(角川ソフィア文庫 1160-1)

高橋 敏 著

KADOKAWA

安政 5 年、3 日で死ぬといわれたコレラが江戸を襲った。当時の人々がどのようにコレラと闘ったのか、東海の村に残る記録から再現。新型コロナ騒動を彷彿とさせる、おかしくもたくましい庶民たちの姿を活写する。

2020:12./ 256p

978-4-04-400640-2

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 世界「新」経済戦争～なぜ自動車の覇権争いを知れば未来がわかるのか～

川口マーン恵美 著

KADOKAWA

電気自動車の覇権を握りたい中国、中国にすり寄るドイツ、米中貿易戦争の手を緩めないアメリカ...波乱の時代を日本は生き残れるか? 世界のエネルギー政策に精通する著者が、「自動車」を通して世界経済を俯瞰する。

2020:7./ 255p

978-4-04-604529-4

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### オルタナート

加藤 シゲアキ 著

新潮社

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3 人の若者の運命が、鮮やかに加速していき...。悩み、傷つきながら<私たち>が「世界との距離をつかむまで」を描く。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。

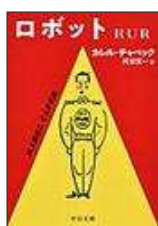
2020:11./ 380p

978-4-10-353731-1

本体 ¥1,815〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### ロボット(中公文庫 チ 1-4)

カレル・チャペック 著

中央公論新社

無限の労働力「ロボット」によって、人類は苦役と貧困から解放され、真の幸福を得るはずだった。1920 年、中欧の小国で発表され、今なお多くの問いを投げかける戯曲の名作。著者による作品解説、訳者解説も収録。

2020:12./ 233p

978-4-12-207011-0

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 2010 年代海外 SF 傑作選(ハヤカワ文庫 SF 2310)

橋本 輝幸 編

早川書房

多様化し続ける世界を映し出した 2010 年代の海外 SF 傑作選。ケン・リュウ「良い狩りを」、テッド・チャン「ソフトウェア・オブジェクトのライフサイクル」など、2010 年代に発表された珠玉の SF 短篇全 11 篇を収録。

2020:12./ 463p

978-4-15-012310-9

本体 ¥1,276〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### ビジネスパーソンのためのクリエイティブ入門

原野 守弘 著

クロスメディア・パブリッシング

34 歳までセールスマンだったクリエイティブディレクターが、カンヌ受賞にまでたどったクリエイティブ必勝法とは? 新しいものをつくり出すために必ず求められる「人間という生き物がもつ習性」を理解できるよう語る。

2021:1./ 190p

978-4-295-40496-5

本体 ¥1,738〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06



### 日本怪異伝説事典

えいとえふ 著

笠間書院

恐山霊場、東北のイエス・キリスト、虚舟、玉藻前と殺生石、徳川幕府の埋蔵金、鬼が棲む大江山、最古のピラミッド葦嶽山…。日本の各地域で語られた、怪異で不思議な伝説を 800 項目以上掲載。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 423p

978-4-305-70934-9

本体 ¥2,200〔税込〕



### 文豪たちの西洋美術〜カラー版〜

谷川 渥 著

河出書房新社

日本の近代作家たちは西洋美術とどんな出会い方をしてきたか。夏目漱石から松本清張まで 55 人の作家を取り上げ、その作品に西洋美術的なものがいかに浸透しているのかを概観する。『アートフラグメント』連載を元に単行本化。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 111p

978-4-309-29122-2

本体 ¥2,200〔税込〕



### ファシズムへの偏流〜ジャック・ドリオとフランス人民党〜<上>

竹岡 敬温 著

国書刊行会

反ファシズムの旗手は、なぜヒトラーの支持者となったのか？ ヴィシー政権時代にナチス協力者へと変じた転向者ジャック・ドリオの驚くべき生涯を通して、激動のフランス現代史を照射する。

朝日新聞 2021/02/06

2020:11./ 385p

978-4-336-06663-3

本体 ¥3,740〔税込〕



### ファシズムへの偏流〜ジャック・ドリオとフランス人民党〜<下>

竹岡 敬温 著

国書刊行会

反ファシズムの旗手は、なぜヒトラーの支持者となったのか？ ヴィシー政権時代にナチス協力者へと変じた転向者ジャック・ドリオの驚くべき生涯を通して、激動のフランス現代史を照射する。

朝日新聞 2021/02/06

2020:11./ 294p

978-4-336-06664-0

本体 ¥3,520〔税込〕



### 水の迷宮

種村 季弘 著

国書刊行会

種村季弘の泉鏡花論集成。鏡花作品における水モチーフについてはじめて本格的に論じたと評される「水中花変幻」、ちくま文庫「泉鏡花集成」の解説など、泉鏡花をめぐる評論、エッセー、講演録、対談全 16 編を収録する。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 316p

978-4-336-07080-7

本体 ¥4,950〔税込〕



### 空芯手帳

八木 詠美 著

筑摩書房

理不尽な雑用、セクハラ…。職場で「女」だからという理由でろくでもない役回りをこなす人生に嫌気がさした柴田は、偽の妊婦を演じることで、空虚な日々になさやかな変化を起こしてゆき…。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 179p

978-4-480-80499-0

本体 ¥1,540〔税込〕







### 2030 中国自動車強国への戦略～世界を席巻するメガ EV メーカーの誕生～

湯進 著

日本経済新聞出版社

中国政府の自動車産業政策の変化、CASE、電池・新興 EV メーカーの動向…。2030 年の中国モビリティ社会に備えて、日本の完成車メーカーや部品メーカーのとるべき戦略を考察する。

朝日新聞 2021/02/06

2019:10./ 255p

978-4-532-32298-4

本体 ¥1,980[税込]



### 2022 年の次世代自動車産業～異業種戦争の攻防と日本の活路～(PHP ビジネス新書 394)

田中 道昭 著

PHP研究所

「次世代自動車産業」を巡る戦いは、自動車メーカーのみならず、IT 企業などがしのぎを削る“異業種戦争”といっても過言ではない。日本勢はどうすれば勝ち残れるのか。「戦いの構図」を整理し、日本の活路を探る。

朝日新聞 2021/02/06

2018:6./ 477p

978-4-569-84059-8

本体 ¥1,265[税込]



### IDOL STYLE

都築響一 著

双葉社

虚実の狭間で生きるアイドル総勢 50 名超の部屋と、彼女たちが住む世界を支えるファンの部屋を、5 年間にわたって撮影した記録。『EX 大衆』連載を書籍化。表紙見返しに写真あり。本体は背表紙なし糸綴じ。

朝日新聞 2021/02/06

2021:1./ 313p

978-4-575-31553-0

本体 ¥6,380[税込]



### おやさい妖精とまなぶ野菜の知識図鑑

ぼん吉 著

二見書房

ハクサイヌ、ルッコアラ、ニンジンベエ、リクガメロン…。動物と野菜がくっついた 49 種類のかわいい「おやさい妖精」が、野菜の特徴や成分、原産地や代表的な料理を紹介します。ツイッター掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 127p

978-4-576-20190-0

本体 ¥1,100[税込]



### 美術/中間子 小池一子の現場

小池 一子 著

平凡社

アート、デザイン、ファッション、広告などの領域を超えて、エネルギーあふれる優れた才能をつなぎ、多彩な現場をサバイブしてきた小池一子。日本のクリエイティブと現代美術を支え続けてきた全仕事を振り返る。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 255p

978-4-582-62071-9

本体 ¥3,300[税込]



### ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか～非体育会系スポーツが生み出す文化、コミュニティ、そして豊かな時間～

高松 平蔵 著

晃洋書房

いじめ、体罰、ギスギスした人間関係、崩壊する地域社会。日本で起こる様々な問題を、ドイツの視線で考えてみると…。「部活」ではなく、地域のスポーツクラブで、老若男女がいきいきと楽しむドイツのスポーツ文化を紹介する。

朝日新聞 2021/02/06

2020:11./ 193p

978-4-7710-3431-0

本体 ¥1,980[税込]





### アトリエ雑記

牧野伊三夫 著

本の雑誌社

酒と料理、ときどき旅路。『暮しの手帖』『雲のうえ』や同人『四月と十月』で活躍する画家がペンを執りつづる、日々の生活の記録。『日刊ゲンダイ』連載を中心にエッセイ 70 余篇を収録。著者による挿絵付き。

朝日新聞 2021/02/06

2020:12./ 252p

978-4-86011-453-4

本体 ¥1,980〔税込〕



### ブランクスペース<1>(ヒーローズコミックスふらっと)

熊倉献 著

ヒーローズ

朝日新聞 2021/02/06

2021:1./ 157p

978-4-86468-777-5

本体 ¥715〔税込〕



### ニッポン巡礼(集英社新書ヴィジュアル版 045V)

アレックス・カー 著

集英社

ひっそりとした寺社、山間の集落、海沿いの棚田、離島の原生林…。滞日 50 年を超える著者が、自らの足で回った全国津々浦々の「かくれ里」から厳選した 10 カ所を写真とともに紹介。季刊誌『kotoba』等連載を新書化。

朝日新聞 2021/02/06、産経新聞 2021/02/21

2020:12./ 250p

978-4-08-721146-7

本体 ¥1,540〔税込〕



### やけに植物に詳しい僕の街のスキマ植物図鑑

瀬尾 一樹 著

大和書房

空き地の端っこ、電車を待つときに見える反対側のホームの下、古いビルと塀のあいだの、日の当たらないスペース…。そんな身近な道ばたの植物 114 種の生き様を、写真とともに紹介します。

朝日新聞 2021/02/06、産経新聞 2021/02/28

2020:12./ 143p

978-4-479-39359-7

本体 ¥1,650〔税込〕



### ランキング～私たちはなぜ順位が気になるのか?～

ペーテル・エールディ 著

日本評論社

ランキングは、デジタル社会の必然的な帰結である-。日常にあふれるランキングルールに潜む恣意性を明らかにし、現代のランキング社会とうまく付き合うためのヒントを提供する。

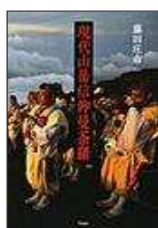
朝日新聞 2021/02/06、読売新聞 2021/02/14、日本経済新聞 2021/02/27

2020:12./

17p,271p,27p

978-4-535-55981-3

本体 ¥2,970〔税込〕



### 現代山岳信仰曼荼羅

藤田 庄市 著

山と溪谷社

山と祈りの現在形とは。「祈り」の現場を追いつけるフォト・ジャーナリストによるフィールドワークの成果。20 年余りにわたって取材し、自ら体感した「修験道」のリアルな姿を活写する。

朝日新聞 2021/02/06、読売新聞 2021/02/28

2020:12./ 237p

978-4-635-82251-0

本体 ¥1,980〔税込〕





### 動物園・その歴史と冒険(中公新書ラクレ 713)

溝井 裕一 著

中央公論新社

18世紀末のヨーロッパに誕生した動物園。古代の「聖獣」飼育から「未開人」展の熱狂、果ては「恐竜」の捕獲や絶滅動物の復元計画まで、動物園の全史と冒険譚を描き出す。

2021:1./ 325p

978-4-12-150713-6

本体 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06、日本経済新聞 2021/02/06、読売新聞 2021/02/07



### 誤読のイタリア(光文社新書 1112)

ディエゴ・マルティナー 著

光文社

「距離感ゼロ」から「家族のかたち」まで、イタリア文化を見つめる旅は、日本文化を再発見する旅だ。夏目漱石など日本文学を愛するイタリア人が、文化の「誤読」と「正読」についてユーモアを交えて綴る。

2021:1./ 228p

978-4-334-04520-3

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06、日本経済新聞 2021/02/13



### 江戸問答(岩波新書 新赤版 1863)

田中 優子、松岡 正剛 著

岩波書店

近世から近代への転換期に何が分断され、放置されたのか。面影、浮世、サムライ、いきをめぐる時間・場を超越したスリリングな問答から、「日本の自画像」を改めて問い直す。「日本問答」に続く第2弾。

2021:1./ 3p,376p

978-4-00-431863-7

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06、日本経済新聞 2021/02/20



### 暗殺の幕末維新史～桜田門外の変から大久保利通暗殺まで～(中公新書 2617)

一坂 太郎 著

中央公論新社

日本史上、幕末維新时期ほど暗殺が頻発した時期はない。大老井伊直弼から内務卿大久保利通に至る国家の中枢、外国人、坂本龍馬らの「志士」、市井の人々までが次々と標的となった凄惨な実相と世間の反応を描く。

2020:11./ 2p,238p

978-4-12-102617-0

本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06、日本経済新聞 2021/02/27



### 非国民な女たち～戦時下のパーマとモンペ～(中公選書 112)

飯田 未希 著

中央公論新社

「贅沢は敵」と非難されたパーマメントは戦中も大流行して、店には大行列。モンペは当時から「不格好」と公然と言われていた。統制と近代化の狭間で社会問題となりながら髪形や服装にこだわった女性たちとその背景に迫る。

2020:11./ 274p

978-4-12-110112-9

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/02/06、毎日新聞 2021/02/13



### 「昭和天皇実録」にみる開戦と終戦(岩波ブックレット No.932)

半藤 一利 著

岩波書店

2014年9月に完成し公開された「昭和天皇実録」。作家・半藤一利が、激動の昭和史の大転換点である開戦/終戦に注目し、実録本文を引きつつ、日本の命運を揺るがせた天皇の決断に至る経緯と心情に迫る。

2015:9./ 94p

978-4-00-270932-1

本体 ¥726〔税込〕



朝日新聞 2021/02/13



**でたらめの科学～サイコロから量子コンピューターまで～(朝日新書 796)**

勝田敏彦 著  
朝日新聞出版

規則性が見つからない、なんのルールも特徴もない数の並び「乱数」。でたらめだからこそ価値があり、でたらめぶりが重宝がられる。この優れものの知られざる正体に迫り、可能性を探る科学ルポ。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 221p  
978-4-02-295104-5  
本体 ¥869〔税込〕



**殉教者(講談社文庫 か 5-11)**

加賀 乙彦 著  
講談社

江戸時代初期、海と砂漠を 5 万 3 千キロ旅し、日本人として初めて聖地エルサレムの地を踏みローマに辿り着いた、伝説の巡礼者・ペトロ岐部カスイの生涯を描く。信仰の最奥に迫る壮大な物語。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 259p  
978-4-06-521118-2  
本体 ¥693〔税込〕



**遺訓(新潮文庫 さ-47-5)**

佐藤 賢一 著  
新潮社

明治 9 年。沖田総司の甥で天然理心流の遣い手である芳次郎は、西郷隆盛の警護を命じられる。死闘を重ねるうち、人には力に勝る強さがあることを知る。最後のサムライたちを描く時代長篇。

朝日新聞 2021/02/13

2021:1./ 641p  
978-4-10-112535-0  
本体 ¥1,045〔税込〕



**母影**

尾崎 世界観 著  
新潮社

小学校でも友だちをつくれず、居場所のない少女は、母親の勤めるマッサージ店の片隅で息を潜めている。お客さんを直しているお母さんは日に日に苦しそうになっていく…。第 164 回芥川賞候補作。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2021/02/13

2021:1./ 124p  
978-4-10-352142-6  
本体 ¥1,430〔税込〕



**リベラルとは何か～17 世紀の自由主義から現代日本まで～(中公新書 2621)**

田中 拓道 著  
中央公論新社

17 世紀ヨーロッパの自由主義から思想的刷新を重ね、先進諸国に共通する政治的立場となった「リベラル」。理念の変遷と現実政治の展開を丁寧にとり、日本でリベラルが確立しない要因にも迫る。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 6p,208p  
978-4-12-102621-7  
本体 ¥902〔税込〕



**祐介**

尾崎 世界観 著  
文藝春秋

ライブをしても客は数名、メンバーの結束もバラバラ。恋をした相手はピンサロ嬢。売れないバンドマンが逆走の果てにみつけた物は…。ロックバンド・クリープハイズの尾崎世界観が、自分が見つからない全ての人に贈る初小説。

朝日新聞 2021/02/13

2016:6./ 141p  
978-4-16-390478-8  
本体 ¥1,320〔税込〕







### 細野晴臣と彼らの時代

門間 雄介 著

文藝春秋

日本のポップスを変革した音楽家・細野晴臣。「はっぴいえんど」「YMO」「ティン・パン・アレー」で、彼は何を生み出したのか? 本人のインタビューや、共に音楽活動をしてきた人々の証言から、彼の劇的な半生を描く。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 511p

978-4-16-391207-3

本体 ¥2,420[税込]



### 日本のいちばん長い日 決定版(文春文庫)

半藤 一利 著

文芸春秋

昭和20年8月14日正午から24時間の内に起きた出来事を埋もれていた資料をもとに再現。画期的ノンフィクション待望の文庫化

朝日新聞 2021/02/13

2006:7./ 371p

978-4-16-748315-9

本体 ¥770[税込]



### 乱丸<上> 新装版(徳間文庫 徳間時代小説文庫 み 16-18)

宮本 昌孝 著

徳間書店

猛将・森三左衛門の三男として美濃・金山城に生をうけた森乱丸。やがて才気溢れる若者に成長した乱丸は、天下人を目指す織田信長のそば近くに小姓として侍ることに。主君の大望を果たすため、乱丸は自らの命を賭ける!

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 507p

978-4-19-894610-4

本体 ¥880[税込]



### 乱丸<下> 新装版(徳間文庫 徳間時代小説文庫 み 16-19)

宮本 昌孝 著

徳間書店

才気ほとばしる言動で頭角を現した乱丸。光秀とイエズス会の動向を、安土城下屈指の女郎屋を営む謎の女キリシタン・アンナに探らせるが、彼女に思いをかけてもいた。運命の日の朝、乱丸は自らの存念を問われることになる....

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 557p

978-4-19-894611-1

本体 ¥880[税込]



### 私のエッセイズム〜古井由吉エッセイ撰〜

築地 正明 編

古井 由吉 著

河出書房新社

古井文学にとって「エッセイズム」は核心であり、エッセイは半身をなしていた。初年から晩年までのエッセイのなかから、古井由吉の文学の核心を照らし出すと考えられる作品を選び、独特の「エッセイズム」の展開をたどる。

朝日新聞 2021/02/13

2021:1./ 331p

978-4-309-02938-2

本体 ¥3,850[税込]



### 靖国神社の緑の隊長

半藤 一利 著

幻冬舎

戦後ひたすらに、自分のやりかたで責任をとりつづけた末端の部隊長がいた...。旧帝国陸海軍の将校や兵士の体験談を、作家・半藤一利が綴る。月刊『文藝春秋』に掲載した表題作ほか、「南の島に雪を降らせた男」など全8編収録。

朝日新聞 2021/02/13

2020:7./ 213p

978-4-344-03641-3

本体 ¥1,430[税込]





### 羊は安らかに草を食み

宇佐美まこと 著

祥伝社

認知症を患い、日ごと記憶が失われてゆく老女には、それでも消せない「秘密の絆」があった。86年の人生を遡る最後の旅が、図らずも浮かび上がらせる壮絶な真実とは。

朝日新聞 2021/02/13

2021:1./ 358p

978-4-396-63603-6

本体 ¥1,870〔税込〕



### 領土の政治理論(サピエンティア 61)

マーガレット・ムーア 著

法政大学出版局

日本列島は日本人のものなのか。あふれる移民、カシミールやクルドの分離独立運動、漁場や海底資源をめぐる争いなど、世界中で頻発する領土や境界線の問題を哲学的に読み解く。

朝日新聞 2021/02/13

2020:11./

15p,347p,24p

978-4-588-60361-7

本体 ¥4,950〔税込〕



### 雪崩事故事例集 190〜日本における雪崩事故 30 年の実態と特徴〜

出川 あずさ 著

山と溪谷社

日本国内で発生した過去 30 年間の雪崩事故を網羅した事例集。「ストームスラブ」「持続型スラブ」「ディープスラブ」といったタイプ別に、気象と積雪、地形特徴、捜索救助、気象アラート、積雪観察などのデータを掲載する。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 142p

978-4-635-14029-4

本体 ¥2,970〔税込〕



### ヒューマンライブラリーへの招待〜生きた「本」の語りがココロのバリアを溶かす〜

坪井 健 著

明石書店

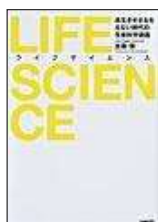
セクシャルマイノリティやホームレス、薬物依存症、障害者など、日ごろ誤解や偏見をもたれやすい人と一般の人との対話イベント、ヒューマンライブラリー。その開き方や効果、日本での開催状況などを紹介する。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 216p

978-4-7503-5137-7

本体 ¥2,200〔税込〕



### LIFE SCIENCE〜長生きせざるをえない時代の生命科学講義〜

吉森 保 著

日経BP社

世界的生命科学者が、細胞の話といった生命科学の基本から、抗体やウイルスの話、細胞を「若返らせる」オートファジーや最先端の知見までを、分かりやすく解説。科学的思考が欠かせない理由や、寿命を延ばす方法なども伝える。

朝日新聞 2021/02/13

2020:12./ 351p

978-4-8222-8866-2

本体 ¥1,870〔税込〕



### 本とみかんと子育てと〜農家兼業編集者の周防大島フィールドノート〜

柳原 一徳 著

みずのわ出版

山口県周防大島のみかん農家兼業ひとり出版社による、998 日にわたる営農と本づくり、子育ての記録。日々の記録と考察の集積から、今様の島の生活誌、民俗誌を綴る。250 点の写真も掲載。

朝日新聞 2021/02/13

2021:1./ 671p

978-4-86426-046-6

本体 ¥3,300〔税込〕





### 他者と働く～「わかりあえなさ」から始める組織論～

宇田川 元一 著

ニューズピック

「適応課題」と呼ばれる複雑で厄介な組織の問題をいかに解くか。忖度する・論破するでもなく、相手の「ナラティブ」に入り込み、新しい関係性を構築する、組織を動かす現実的で効果的な方法を紹介する。

2019:10./ 197p

978-4-910063-01-0

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/02/13



### 国境の思想～ビッグデータ時代の主権・セキュリティ・市民～

マシュウ・ロンゴ 著

岩波書店

9・11 以後の国境は、ビッグデータやセキュリティ技術の進展を通じて、世界の生政治化を促す場として作用している。こうした国境のあり方は、市民主権やセキュリティをどのように変化させていくのかを考察する。

2020:12./ 20p,284p

978-4-00-022973-9

本体 ¥5,060〔税込〕



朝日新聞 2021/02/13、読売新聞 2021/02/14



### 福澤諭吉の思想的格闘～生と死を超えて～

松沢 弘陽 著

岩波書店

一身にして二生を経る激動の時代を生きた福澤諭吉は、生涯を通じて何をを目指して闘ったのか。天国も死後の生も信じなかった福澤が後世に託したものは何か。福澤の思想的格闘を辿り、その意味を徹底的に追究する。

2020:11./ 9p,419p,9p

978-4-00-061435-1

本体 ¥10,450〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



### ステップファミリー～子どもから見た離婚・再婚～(角川新書 K-345)

野沢 慎司、菊地 真理 著

KADOKAWA

ステップファミリー(再婚家族)で起こる虐待の悲劇。それは、「正しい親」幻想が原因だった！ 常識化した離婚・再婚家族における親子関係のあり方の歴史や問題点を論じ、今後どのように変わっていくべきかを提言する。

2021:1./ 220p

978-4-04-082367-6

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



### ナイトメア・ファミリー<1>(BEAM COMIX)

七野 ワビセン 著

KADOKAWA

「俺はいつ、コイツらとおさらばできるんだろう？」 女詐欺師・倉原美月は詐欺のターゲット宅で 奇妙な子供たちに出会う。虐待を受けたかのような異常な様子に、思わずふたりをその場 から連れ去ってしまうが……。 詐欺、貧困、病……。 不完全な人間たちの 救いと、絆の物語。 ●コミックビーム 公式ツイッター● @COMIC\_BEAM

2021:2./ 212p

978-4-04-736531-5

本体 ¥858〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



### 晩年のカント(講談社現代新書 2603)

中島 義道 著

講談社

還暦を過ぎ、ようやく購入した自宅。いっさいの装飾を欠いた空間で、家族とのつきあいも絶ち、老哲学者カントは何を考えていたのか？ 日常生活から老衰そして死まで、大哲学者カントの晩年のごちなく下手な生き方を辿る。

2021:1./ 236p

978-4-06-522233-1

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



**感染症時代のマスクの教科書～的確に選んで、正しく着ける～**

飯田 裕貴子／眞鍋 葉子 著

小学館

マスクは、自分を守り、周りの人も守るもの。マスク研究家・飯田裕貴子と内科医・眞鍋葉子が、マスクの基本と最新情報を写真やイラストを交えてわかりやすく解説。ウイルスから身を守る方法も伝える。

2020:12./ 127p

978-4-09-310673-3

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



**細雪<上> 改版(新潮文庫)**

谷崎 潤一郎 著

新潮社

朝日新聞 2021/02/20

1997:4./ 284p

978-4-10-100512-6

本体 ¥605〔税込〕



**細雪<中> 改版(新潮文庫)**

谷崎 潤一郎 著

新潮社

朝日新聞 2021/02/20

1989:1./ 313p

978-4-10-100513-3

本体 ¥693〔税込〕



**細雪<下> 改版(新潮文庫)**

谷崎 潤一郎 著

新潮社

朝日新聞 2021/02/20

1997:4./ 420p

978-4-10-100514-0

本体 ¥781〔税込〕



**「日本の伝統」の正体(新潮文庫 ふ-59-1)**

藤井 青銅 著

新潮社

「日本の伝統」はいつ、いかにして創られ、私たちはどのようにして、受け入れてきたのか。初詣、神前結婚式、恵方巻、大安・仏滅、三世代同居など、さまざまな「伝統」を取り上げ、その成り立ちなどを明らかにする。

2021:1./ 286p

978-4-10-102481-3

本体 ¥649〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



**性の歴史<1> 知への意志**

ミシェル・フーコー 著

新潮社

朝日新聞 2021/02/20

1986:9./ 217p

978-4-10-506704-5

本体 ¥3,080〔税込〕



**性の歴史<2> 快楽の活用**

ミシェル・フーコー 著

新潮社

朝日新聞 2021/02/20

1986:10./ 331,6p

978-4-10-506705-2

本体 ¥3,850〔税込〕







### 性の歴史<3> 自己への配慮

ミシェル・フーコー 著  
新潮社  
朝日新聞 2021/02/20

1987:4./ 319p  
978-4-10-506706-9  
本体 ¥3,850〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 0 5 0 6 7 0 6 9 \*



### 性の歴史<4> 肉の告白

フレデリック・グロ 編  
ミシェル・フーコー 著  
新潮社

人はどのようにして「欲望の主体」となったか。2?5 世紀のキリスト教教父の文献を分析し、悔悛の実践、修道制の発達、処女・童貞性と結婚など現代に連なる「欲望の解釈学」の形成を解明。現代思想の巨人の最後の主著、完結。

2020:12./ 554p,20p  
978-4-10-506712-0  
本体 ¥4,730〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 0 5 0 6 7 1 2 0 \*

朝日新聞 2021/02/20



### 不寛容論～アメリカが生んだ「共存」の哲学～(新潮選書)

森本 あんり 著  
新潮社

「不愉快な隣人」とどう付き合うか。不寛容だった植民地時代のアメリカで、異なる価値観を持つ人びとが暮らす多様性社会を築いた偏屈なピューリタンの苦闘から、そのしたたかな共存の哲学を読み解く。

2020:12./ 297p  
978-4-10-603860-0  
本体 ¥1,760〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 0 6 0 3 8 6 0 0 \*

朝日新聞 2021/02/20



### 京劇～「政治の国」の俳優群像～(中公叢書)

加藤 徹 著  
中央公論新社

西太后、袁世凱、毛沢東…。権力者の意思と役者の意地が、舞台の外で繰り広げられる白熱のドラマとは？ 京劇俳優たちの人生を取り上げ、中国史の知られざる一面に光を当てると同時に、日本の近代の歩みをも見つめ直す試み。

2002:1./ 358p  
978-4-12-003224-0  
本体 ¥2,035〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 2 0 0 3 2 2 4 0 \*

朝日新聞 2021/02/20



### 茶の湯～わび茶の心とかたち～(中公文庫 く18-3)

熊倉 功夫 著  
中央公論新社

にじり口はなぜ狭いのか？ 廻しのみはいつ始まったのか？ わび茶の儀礼などの芸能から独自の文化的価値を分析し、茶会の構造・空間・趣向の全体像を提示。下剋上を背景に発展した茶の湯を民俗学と芸能史の視点でとらえ直す。

2021:1./ 214p  
978-4-12-207017-2  
本体 ¥946〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 2 2 0 7 0 1 7 2 \*

朝日新聞 2021/02/20



### あの人はなぜ定年後も会社に来るのか(NHK 出版新書 644)

中島 美鈴 著  
NHK出版

会社という居場所を失ったとき、男性はなぜ老後の時間を有効に使えないのか。心理学の「認知行動療法」の視点から、老後の所在なさの正体を明らかにし、悔いのない豊かな定年後の人生を歩むためのシンプルな考え方を示す。

2021:1./ 215p  
978-4-14-088644-1  
本体 ¥935〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 4 0 8 8 6 4 4 1 \*

朝日新聞 2021/02/20



### Weの市民革命

佐久間裕美子 著

朝日出版社

トランプ時代、パンデミック、大統領選…。自分以外の誰かのために、声を上げたり、行動を起こす「We」。アメリカの変化のリアルな可能性と希望を伝える。オンラインメディア『NewSphere』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2021/02/20

2020:12./ 229p

978-4-255-01203-2

本体 ¥1,650〔税込〕



### 人生が動き出す妄想する力～デジタルネイティブ世代のニューノーマル～

宮本 香奈 著

日経BP社

ポストコロナの世界では、世界はますます近くなり、コロナ前には難しかったいろいろなことが簡単にできるようになる。何をするか、どんな妄想をするかもあなた次第。妄想力を磨いて夢をかなえる方法を紹介する。

朝日新聞 2021/02/20

2021:1./ 247p

978-4-296-10857-2

本体 ¥1,760〔税込〕



### 愛するということ

エーリッヒ・フロム 著

紀伊國屋書店出版部

愛とは、孤独な人間が孤独を癒そうとする営みであり、愛こそが現実の社会生活の中で、より幸福に生きるための最高の技術である。愛の理論と実践の習得をすすめた世界的ベストセラーを改訳。

朝日新聞 2021/02/20

2020:8./ 209p

978-4-314-01177-8

本体 ¥1,430〔税込〕



### 民俗知は可能か

赤坂 憲雄 著

春秋社

人々の語りや習慣に深くおりこまれた<知>ともいうべきもの。そんな「民俗知」に触れ得た石牟礼道子、岡本太郎、網野善彦、宮本常一、柳田国男のテキストをてがかりに、“人が生きてあるかたち”をたどる論集。

朝日新聞 2021/02/20

2020:12./ 381p

978-4-393-42461-2

本体 ¥2,860〔税込〕



### 阿闍梨さまの料理番～もっと知りたい精進料理～

鳥居本 幸代 著

春秋社

日本人の心と体をかたちづくり、文化と歴史を紡いできた精進料理は、生かされていることへの感謝の念を思い出させてくれる。お寺の料理番も務める著者が、その魅力と奥深い世界を案内する。

朝日新聞 2021/02/20

2020:12./ 10p,219p

978-4-393-75126-8

本体 ¥1,980〔税込〕



### 地方を生きる(ちくまプリマー新書 367)

小松 理虔 著

筑摩書房

いま、余白がある「地方」にこそ可能性が広がっている。福島県いわき市を拠点とする活動家がこれまでの活動や取り組み、そこで出会った人たちの興味深い活動などを紹介しつつ、地方で生きるとはどういうことなのかを語る。

朝日新聞 2021/02/20

2021:1./ 233p

978-4-480-68392-2

本体 ¥946〔税込〕





## 女性の世界地図～女たちの経験・現在地・これから～

ジョニー・シーガー 著

明石書店

世界の女性はどこでどのように活躍し、抑圧され、差別され、生活しているのか。出産、健康、仕事、教育、貧困、権力など、さまざまな統計データを地図やグラフで「見える化」し、ジェンダーの格差を示す。

2020:10./ 212p

978-4-7503-5084-4

本体 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



## コロナ禍をどう読むか～16の知性による8つの対話～

奥野 克巳／近藤 祉秋／辻 陽介／逆巻 しとね／尾崎 日菜子／吉村 萬壺／上妻 世海／清水 高志／甲田 烈／松本 卓也／東畑 開人／山川 冬樹／村山 悟郎／辻村 伸雄／石倉 敏明／塚原 東吾／平田 周 著

亜紀書房

ウイルスは「敵」なのか？ それとも-？ 人類学、哲学、批評、小説、精神分析、妖怪…。ジャンルを異にする俊英たちが、コロナ禍が露わにした二元論の陥穽をすり抜け、「あいだ」に息づく世界の実相を探る8つの対話を収録。

2021:1./ 429p

978-4-7505-1682-0

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



## いつだって本と一緒に

岩橋淳 著

皓星社

本は、君の手を取って時を超え、国境を越え、さまざまな出会いを演出する。本との幸福な巡り合いは、いつの日か漕ぎ出す海原で、すぐれた羅針盤となるだろう。273冊の本を簡潔に紹介する。『岩手日報』連載を書籍化。

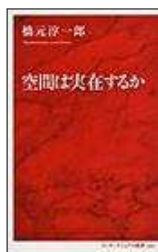
2021:1./ 357p, 14p

978-4-7744-0734-0

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



## 空間は実在するか(インターナショナル新書 063)

橋元 淳一郎 著

集英社インターナショナル

時間の不思議の先に空間の不思議があった。私たちがあたりまえに思っている空間は、本当に実在しているのか。時間と空間の大原則となる相対論をピタゴラスの定理で咀嚼しつつ、シンプルな解説で数々の疑問に挑む。

2020:12./ 221p

978-4-7976-8063-8

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



## 共振

町田 久美、中川 素子 著

水声社

どこへ行くにも、ママは私の手を離さない。ママのこと、嫌いじゃないけど、この頃、頭の中でモゾモゾ動くものがいて…。墨線の絵に違和感を含んだ世の中の関係性を綴った文章を添えた大人向け絵本。

2020:12./ 61p

978-4-8010-0525-9

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/02/20



### 少数民族は語る～台湾原住民女性文学の多元的視野～<上>

楊 翠、魚住 悦子 著  
草風館

1996年に現れた台湾原住民女性文学は、20年余りの間に様々なジャンルで豊かに花開いた。散文、小説、詩のほか、オーラルヒストリーなども取り上げ、さらに漢民族等の女性作家も研究対象にして、少数民族の声を聞く。

朝日新聞 2021/02/20

2020:10./ 406p  
978-4-88323-204-8  
本体 ¥4,620〔税込〕



### 少数民族は語る～台湾原住民女性文学の多元的視野～<下>

楊 翠、魚住 悦子 著  
草風館

1996年に現れた台湾原住民女性文学。タイヤル族のライキン・ユマ、パイワン族のリカラ・アウ、アミ族のアチグの作品分析や、パイワン族のイパオとチベット族のオーセルの比較研究などを収録する。

朝日新聞 2021/02/20

2020:10./ 381p  
978-4-88323-205-5  
本体 ¥4,620〔税込〕



### 世界の台所探検～料理から暮らしと社会がみえる～

岡根谷実里 著  
青幻舎

「台所探検家」が、タイやコソボ、ヨルダンなどで現地の人と一緒に料理をしたり、食事をしたりして生活を体験。海外の暮らしと文化の「リアル」を豊富な写真とともに紹介する。現地家庭で教えてもらったレシピも掲載。

朝日新聞 2021/02/20、産経新聞 2021/02/28

2020:12./ 191p  
978-4-86152-820-0  
本体 ¥2,200〔税込〕



### 猫がなくなった

保坂 和志 著  
文藝春秋

高平君がうちに来て、涙ながらになくなった猫の話をはじめた。聞けば聞くほど私が外で世話していたキャシーそっくりで…。忘れがたい猫達や風景、書物をめぐる9つの短篇を収録。『文藝春秋』ほか掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/02/20、読売新聞 2021/02/21

2021:1./ 242p  
978-4-16-391314-8  
本体 ¥1,870〔税込〕



### 旅する練習

乗代 雄介 著  
講談社

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て…。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2021/02/20、日本経済新聞 2021/02/20、毎日新聞 2021/02/27

2021:1./ 170p  
978-4-06-522163-1  
本体 ¥1,705〔税込〕



### デカメロン 2020

イタリアの若者たち 著  
方丈社

2020年3月、新型コロナウイルスの猛襲を受けロックダウンが発令されたイタリアで、24人の若者たちが語り始めた。3月10日から5月27日までの、彼らの言葉をまとめた記録集。本体は背表紙なし糸綴じ。

朝日新聞 2021/02/20、毎日新聞 2021/02/27

2020:12./ 253p  
978-4-908925-69-6  
本体 ¥2,750〔税込〕







**秋隣小曲集～島田修三歌集～(まひる野叢書 第377篇)**

島田 修三 著  
砂子屋書房

瞳の大きカタクチ鰯のをさながら不機嫌の人にあまらず喰はる 裏山に虫をながむる  
ひねもすを幸せとなす娘であつたらしい 平成29年春?令和2年初夏の493首を  
収めた第9歌集。

朝日新聞 2021/02/21

2020:11./ 212p

978-4-7904-1771-2

本体 ¥3,300[税込]



**チェルノブイリの祈り～未来の物語～ 完全版**

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著  
岩波書店

1986年4月26日午前1時23分、チェルノブイリ原発事故は起こった。人間の  
想像力をこえる巨大な惨事に遭遇した人びとの語る個人的な体験、苦悩をとおして  
放たれる切なる声と願いを、丹念な取材により書きとめる。

朝日新聞 2021/02/24

2021:2./ 7p,410p

978-4-00-061452-8

本体 ¥3,630[税込]



**渋沢栄一～社会企業家の先駆者～(岩波新書 新赤版 1319)**

島田 昌和 著  
岩波書店

渋沢栄一は、経済政策に関する提言を行う一方で、関わったおびただしい数の会  
社経営をどのように切り盛りしたのか。民間ビジネスの自立モデルを作り上げ、社会  
全体の発展のために自ら行動しつづけた彼の足跡を明らかにする。

朝日新聞 2021/02/27

2011:7./ 11p,232p,6p

978-4-00-431319-9

本体 ¥924[税込]



**ふくしま原発作業員日誌～イチエフの真実、9年間の記録～**

片山夏子 著  
朝日新聞出版

人類史でも未曾有の原発事故から9年。高線量下で日当6500円、作業員の被ば  
く隠し、がん発病と訴訟…。箝口令が敷かれた作業員たちを取材し、福島第一の  
「現場」に迫った記録。『東京新聞』連載に加筆して書籍化。

朝日新聞 2021/02/27

2020:2./ 460p

978-4-02-251667-1

本体 ¥1,870[税込]



**渋沢栄一自伝～雨夜譚・青淵回顧録(抄)～(角川ソフィア文庫 G104-3)**

渋沢 栄一 著  
KADOKAWA

近代日本資本主義の父・渋沢栄一。尊王攘夷思想に共鳴した農家の青年は、幕  
臣、新政府高官といった数奇な転身を経て、いかにして実業界に道を見出していっ  
たのか。肉声が響きわたる渋沢栄一の2つの自叙伝を収録。

朝日新聞 2021/02/27

2020:9./ 437p

978-4-04-109941-4

本体 ¥1,100[税込]



**明日、学校へ行きたくない～言葉にならない思いを抱える君へ～**

茂木 健一郎/信田 さよ子/山崎 聡一郎 著  
KADOKAWA

「ふつう」ってなんだろう? 不登校やいじめなど学校にまつわる悩みを、専門家が  
いっしょに考える。ニコニコ生放送番組「明日、学校へ行きたくない」に寄せられた体  
験談と番組の放送内容に加筆して書籍化。

朝日新聞 2021/02/27

2021:2./ 143p

978-4-04-110043-1

本体 ¥1,320[税込]





### おとうさんはウルトラマン

みやにし たつや、円谷プロダクション 著  
学研

ウルトラマンが生まれて30年。スーパーヒーローの活躍に胸おどらせた子どもが今お父さんになった…。ウルトラマン世代に向けて放つ、お父さん賛歌。一生懸命まじめで不器用なウルトラ・パパの子育て絵日記。

1996:6./ 1冊

978-4-05-200733-0

本体 ¥1,287〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### 取り残される日本の教育～わが子のために親が知っておくべきこと～(講談社+α 新書 331-2C)

尾木 直樹 著  
講談社

経済領域にも視野を広げ、世界と比べて日本の教育が遅れていることにアプローチ。危機的な状況にある日本の子どもたちに、これからどのような「教育」を提供していくのかを考える。

2017:1./ 204p

978-4-06-272972-7

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### 日本人の原風景～風土と信心とたつきの道～(講談社学術文庫 2644)

神崎 宣武 著  
講談社

山に富み森林に覆われ海に囲まれた列島。日本人は自然の恵みを享受し生計を立て、神仏に礼を尽くしては人生の節目とした。高度成長期を境に変容を余儀なくされた風土と営みの形とは。日本人の暮らしと人生の豊穡を再確認する。

2021:1./ 284p

978-4-06-522383-3

本体 ¥1,265〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### ニムロッド(講談社文庫 う71-1)

上田 岳弘 著  
講談社

やがて僕たちは、個であることをやめ、全能になって世界に溶ける…。仮想通貨を採掘する中本哲史。トラウマを抱えた恋人・田久保紀子。小説家への夢に挫折したニムロッドこと荷室仁。彼らを巡る心地よい倦怠と虚無の物語。

2021:2./ 167p

978-4-06-522450-2

本体 ¥660〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### 泣きたくなるような青空(集英社文庫 よ23-5)

吉田 修一 著  
集英社

旅に出ることが出来る、それだけで奇跡-。台北や博多の屋台で舌鼓を打ち、沖縄やマレーシアの真っ青な空に目を奪われる…。旅ってやっぱりいいもんだ。作家・吉田修一の素顔が垣間見えるエッセイ集。

2021:1./ 167p

978-4-08-744203-8

本体 ¥572〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### 尾木ママと考える!ほくらの新道徳～学習まんが小学生日記～<1> いじめのこと

テレスコープ／臨床教育研究所「虹」 著  
小学館

変化が著しい今の小学生生活をリアルに描きながら、新しい時代に即した道徳を考えるシリーズ。1 は、「いじめのこと」を取り上げ、まんがと解説記事、尾木ママの豊富な経験に基づくアドバイスを収録する。

2020:3./ 143p

978-4-09-296690-1

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## 尾木ママと考える!ぼくらの新道徳～学習まんが小学生日記～<2> 友達のこと

テレスコープ／臨床教育研究所「虹」 著

小学館

変化が著しい今の小学生生活をリアルに描きながら、新しい時代に即した道徳を考える。2 は、「友達のこと」を取り上げ、まんがと解説記事、尾木ママの豊富な経験に基づくアドバイスを収録する。

2020:3./ 159p

978-4-09-296691-8

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## 「過干渉」をやめたら子どもは伸びる(小学館新書 370)

西郷 孝彦／尾木 直樹／吉原 毅 著

小学館

わが子を思うゆえに、陥りがちな「過干渉」という落とし穴。だが、大人の先回りこそが、子どもの成長を阻んでいる。教育最前線の 3 人が、子どもを“指示待ち”にさせず、主体的に考え行動できる大人へと育む方法を説く。

2020:4./ 219p

978-4-09-825370-8

本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## 朝鮮戦争を戦った日本人

藤原 和樹 著

NHK出版

朝鮮戦争に「自ら行った」日本人がいた。米軍とともに朝鮮半島で行動した日本人たちの尋問記録を読み解き、戦争協力の真実に迫る。2019 年 8 月放送の NHK BSI スペシャルの内容をもとに書籍化。

2020:12./ 333p

978-4-14-081849-7

本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## オン・ザ・カム・アップ～いま、這いあがるとき～(海外文学コレクション 7)

アンジー・トーマス 著

岩崎書店

通っている高校の警備員からいわれのない嫌疑と暴力を受けたブリ。ラッパーとしての成功を夢見る少女に未来が開きはじめた矢先の事件だった。黒人やヒスパニック系への偏見を感じていた生徒たちは抗議の声をあげるが...

2020:12./ 476p

978-4-265-86047-0

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## おかあさんありがとう

みやにし たつや 著

金の星社

守ってくれたり、助けてくれたり、許してくれたり。おかあさん、いつもありがとう。あとね、おとうさんが、ぼくが産まれたときのことをおしえてくれたよ。産んでくれて、ありがとう。

2019:7./ 24p

978-4-323-07439-9

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



## こども六法

山崎 聡一郎 著

弘文堂

法律はみんなを守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらうのに役立つよ。いじめ、虐待に悩んでいるきみへ、楯となる法律について、イラストとやわらかい言葉で解説する。

2019:8./ 201p

978-4-335-35792-3

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/02/27



### こども六法すごろく

山崎 聡一郎 著  
幻冬舎

『こども六法』の副教材として制作されたすごろくゲーム。すごろくを進めながら、法律に関わる〇?クイズを解いていくことで遊び感覚で法律を学べる。

朝日新聞 2021/02/27

2020:6.

978-4-344-99291-7

本体 ¥2,420[税込]



### 歌と映像で読み解くブラック・ライヴズ・マター

藤田 正 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

ビリー・ホリデイ、ジェイムズ・ブラウン、スパイク・リー、ビヨンセ…。誰にでも体験できる歌や映像という文化メディアを通じて、巨大な流れとなったブラック・ライヴズ・マター運動の過去と現在を見つめ直し、未来を語る。

朝日新聞 2021/02/27

2020:11./ 263p

978-4-401-64966-2

本体 ¥2,200[税込]



### こわい顔じゃ伝わらないわよ〜尾木ママの子育てアドバイス〜

尾木 直樹 著

新日本出版社

子育てのなかで生まれてくる様々な問題に、尾木ママが優しく具体的な解決策を語る。「尾木ママ誕生秘話」や尾木ママを育んだ母親や人々との関わりなど、著者のバックグラウンドも紹介。『赤旗日曜版』掲載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2021/02/27

2020:7./ 234p

978-4-406-06477-4

本体 ¥1,760[税込]



### 翻訳教室〜はじめの一步〜(ちくま文庫 39-2)

鴻巣 友季子 著

筑摩書房

「外国語を訳す」とはどういうことか。母語ではない他者の言葉と向き合うための「はじめの一步」とは-。文芸翻訳の第一線で活躍し続ける著者が、母校の小学校で開催した「翻訳教室」のレッスンをまとめた、珠玉の入門書。

朝日新聞 2021/02/27

2021:2./ 212p

978-4-480-43714-3

本体 ¥880[税込]



### 渋沢栄一を知る事典

渋沢栄一記念財団 編

東京堂出版

近代日本実業の父・渋沢栄一。幕臣、維新政府官僚から実業家となり、500 余の企業設立に関与、早くから福祉・教育事業にも着手して日本の近代化を牽引したその生涯と数々の事績を網羅的に解説する。

朝日新聞 2021/02/27

2012:10./ 326p

978-4-490-10824-8

本体 ¥3,080[税込]



### わたしのあのこのわたし(わたしたちの本棚)

岩瀬 成子 著

PHP研究所

小学5年生の秋は、友だちのモッチの家へ遊びに行った時、大切なレコードをモッチの弟に傷つけられてしまった。秋の心の中に、モッチへのいじわるな気持ちが広がっていき…。すれちがいながらも助け合うふたりの物語。

朝日新聞 2021/02/27

2021:1./ 207p

978-4-569-78969-9

本体 ¥1,540[税込]







### 戦後教科書運動史(平凡社新書 963)

俵 義文 著

平凡社

時の権力によって度重なる攻撃にさらされた戦後の教育制度と教科書。検定制度を世に問うた「家永教科書裁判」から教育基本法、道徳教科化、学習指導要領、採択問題まで、教育と教科書に真実を求めた運動の軌跡をたどる。

朝日新聞 2021/02/27

2020:12./ 445p

978-4-582-85963-8

本体 ¥1,760〔税込〕



### おれはティラノサウルスだ(絵本の時間)

宮西 達也 著

ポプラ社

プテラドンの子の目の前で、恐ろしいティラノサウルスが大けがをしてしまいました。心優しいプテラドンの子はおそろおそろ近づくと、かんびょうしてあげることになりましたが....

朝日新聞 2021/02/27

2004:1./ 1 冊

978-4-591-07925-6

本体 ¥1,320〔税込〕



### ちかてつサブちゃん(ほるぷ創作絵本)

宮西 達也 著

ほるぷ出版

ちかてつのサブちゃんは、見たことのない地上のことが気になって仕方ありません。先輩のちかてつたちが、地上のことを教えてくれるのですが、サブちゃんの地上への妄想はどんどんおかしいことになっていって....

朝日新聞 2021/02/27

2021:2./ 32p

978-4-593-10247-1

本体 ¥1,430〔税込〕



### 世界を動かす変革の力~ブラック・ライブズ・マター共同代表からのメッセージ~

アリシア・ガーザ 著

明石書店

3 人の女性たちによって始まった運動はいかにして生まれ、人種や国境を超え、成長してきたのか。ブラック・ライブズ・マター共同代表が語る、はじめての本。組織化して変革を遂げるための理念とノウハウが満載。

朝日新聞 2021/02/27

2021:1./ 356p

978-4-7503-5115-5

本体 ¥2,420〔税込〕



### 尾木ママの7つの人生力~ありのままに、今を輝かせる力~

尾木 直樹 著

海竜社

抵抗があることほど楽しんでみる価値がある。迷いは声に出して言うと整理される。自分を大事にする「勇気」が人をも救う。「尾木ママ」の、人生のさまざまな局面を突破してきた「人生力」を紹介する。

朝日新聞 2021/02/27

2015:6./ 199p

978-4-7593-1429-8

本体 ¥1,320〔税込〕



### うんこ 新装改訂版(たんぽぽえほんシリーズ)

みやにし たつや 著

鈴木出版

おくちをばくばく。きんぎょさんのうんこはね、どんなうんこかな? これ。水の中をゆらゆらゆらーり。ながーいうんこ。かあーかあー。からすさんのうんこはね、どんなうんこかな?

朝日新聞 2021/02/27

2020:12./ 1 冊(ペー  
ジ付なし)

978-4-7902-5421-8

本体 ¥1,320〔税込〕





### 「メカニクス」の科学論

佐藤 文隆 著  
青土社

ネットワーク、ビッグデータ、機械学習…。数学と機械のメカニクスは「力学」を超えて、情報革命を起こそうとしている。メカニクスと西洋学問の分離が引き起こす科学の変貌を追究する。『現代思想』連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2021/02/27

2020:12./ 249p  
978-4-7917-7332-9  
本体 ¥2,200〔税込〕



### でんしゃくるかな?(0.1.2.えほん)

きくちちき 著  
福音館書店

くるかな? くるかな? きりんやぞう、ライオンたちが電車を待っています。ホームに電車が滑りこんでくると「きたー!」と、みんな大喜び。そして「ばいばーい」と、手を振って…。

朝日新聞 2021/02/27

2021:2./ [20p]  
978-4-8340-8591-4  
本体 ¥880〔税込〕



### アーミッシュの老いと終焉

堤 純子 著  
未知谷

自分らしく老い、自分らしい最期を迎えるには? アーミッシュの人々とその生活を長年調査してきた著者が、皆がそれぞれの場所で、それぞれの役割を果たすアーミッシュの高齢者たちの生き方と考え方を詳細に紹介する。

朝日新聞 2021/02/27

2021:1./ 267p  
978-4-89642-630-4  
本体 ¥2,970〔税込〕



### ベネズエラ～溶解する民主主義、破綻する経済～(中公選書 115)

坂口 安紀 著  
中央公論新社

経済が縮小を続けるベネズエラは、治安が悪化、食料供給や医療制度システムも崩壊の危機にある。チャベス大統領就任以降、権威主義体制に変容し、経済が破綻に向かう 20 年間の軌跡を描く。

朝日新聞 2021/02/27、日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 288p  
978-4-12-110115-0  
本体 ¥1,870〔税込〕



### 旅する神々(角川選書 644)

神崎 宣武 著  
KADOKAWA

大国主神、倭姫命、倭建命、仮面・仮装の来訪神…古来、人びとが招き奉れば、自在に移り来た神々。「古事記」をはじめ神話や行事に息づく奔放で多情多様な「旅する神」の姿に、日本独自の神々と人びとの関係性をさぐる。

東京・中日新聞 2021/02/07

2020:11./ 272p  
978-4-04-703689-5  
本体 ¥1,870〔税込〕



### 盆踊りの戦後史～「ふるさと」の喪失と創造～(筑摩選書 0202)

大石 始 著  
筑摩書房

人が集まり、音頭にあわせて踊る「盆踊り」は、楽しいだけでなく人や地域にとって大切な役割を持ち、その役割も時とともに変化してきた。盆踊りを通して日本の地域コミュニティの変遷を見つめ、その未来を考える。

東京・中日新聞 2021/02/07

2020:12./ 254p  
978-4-480-01719-2  
本体 ¥1,760〔税込〕





### 医師が死を語るとき～脳外科医マーシュの自省～

ヘンリー・マーシュ 著

みすず書房

「よき死」とは何か。社会はそれを可能にしてくれるのか。イギリスを代表する脳神経外科医が、該博な知識から生命と人生の意味を問い、患者たちの死、そしてやがてくる自らの死に想いをめぐらせる自伝的ノンフィクション。

2020:12./ 4p,303p

978-4-622-08966-7

本体 ¥3,520〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/07



### 路上のポルトレ～憶いだす人びと～

森まゆみ 著

羽鳥書店

忘れ得ぬ人の記憶をたなごころですくい、そっと温めるように書いておきたい。作家、思想家から市井に生きる人まで、長年にわたり出会った人びとを回想するエッセイ集。『小説すばる』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020:12./ 328p,4p

978-4-904702-83-3

本体 ¥2,420〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/07



### 在宅ひとり死のススメ(文春新書 1295)

上野 千鶴子 著

文藝春秋

おひとりさまでも、認知症でも大丈夫。大好きな自宅で、自分らしい幸せな最期を迎えるための準備と心構えを伝える。「おひとりさまの最期」を支える医療・介護・看取りの最前線も紹介する。

2021:1./ 209p

978-4-16-661295-6

本体 ¥880〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/13



### 下山の哲学～登るために下る～

川口 穰 編

竹内 洋岳 著

太郎次郎社エディタス

日本人で唯一世界 8000m 峰 14 座すべての頂に立ったプロ登山家・竹内洋岳は、どのように山を下ってきたのか。17 年にわたる 14 座の全下山をたどり、現在に続く新たな挑戦を報告する。

2020:10./ 254p

978-4-8118-0843-7

本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/13



### 70 歳、これからは湯豆腐～私の方丈記～

太田 和彦 著

亜紀書房

外に出て四季をめぐる。本屋と酒場をはしごする。自分だけの場所を探して。居酒屋作家の著者が、豊かな「ひとり時間」の過ごし方を綴る。亜紀書房ウェブマガジン『あき地』連載を再構成して単行本化。

2020:12./ 206p

978-4-7505-1675-2

本体 ¥1,430〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/14



### 現代音楽史～闘争しつづける芸術のゆくえ～(中公新書 2630)

沼野 雄司 著

中央公論新社

20 世紀に大きく変貌した西洋音楽。多くの作曲家が既存の音楽の解体をめざして無調、十二音技法、トーン・クラスター、偶然性の音楽など、音の実験を繰り返した。時代との闘争を続ける「新しい」音楽のゆくえをたどる。

2021:1./ 5p,282p

978-4-12-102630-9

本体 ¥990〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/20



### <無調>の誕生～ドミナントなき時代の音楽のゆくえ～

柿沼 敏江 著  
音楽之友社

2021世紀にかけて起こった音楽の盛衰と興亡を「無調」とされる現象とそれにまつわる音楽上の事象や言説から見直し、いわゆる「現代音楽」に何が起こったのかを再検討する試み。時間軸上の問題にもふれる。

2020:1./ 291p,43p  
978-4-276-13205-4  
本体 ¥4,180〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/20



### 服のはなし～着たり、縫ったり、考えたり～

行司 千絵 著  
岩波書店

わたしの気持ち。他人の視線。装うことへの圧と悩み。おしゃれの迷い道をさまよった末、新聞記者の仕事のかたわら服を手づくりするようになった著者が、社会や自身にとっての服の意味を探る。

2020:12./ 8p,172p,2p  
978-4-00-061443-6  
本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/21



### アルツハイマー征服

下山 進 著  
KADOKAWA

遺伝子の特定、トランスジェニック・マウスの開発、ワクチン療法から抗体薬。名声に囚われた科学者の捏造事件、治験に失敗した巨大製薬会社の破綻など、幾多のドラマでアルツハイマー病治療法解明までの長い道を描く。

2021:1./ 330p  
978-4-04-109161-6  
本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/21



### ヨンケイ!!

天沢 夏月 著  
ポプラ社

慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に奇跡的に4人の男子スプリンターが揃った。インターハイを目前に控え…。チームワーク最悪の男子高校生たちが4×100mリレーに挑む青春小説。

2021:1./ 307p  
978-4-591-16886-8  
本体 ¥1,650〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/21



### 隣の国のことばですもの～茨木のり子と韓国～

金 智英 著  
筑摩書房

日韓の文化を日本の側から横断した戦後の女性詩人・茨木のり子。彼女がハンガールを学び、韓国現代詩の編訳まで手掛けたのはなぜか。茨木のり子と韓国の関連を、主に茨木の詩作品などをもとに論じる。

2020:12./ 288p,9p  
978-4-480-82381-6  
本体 ¥2,420〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/21、毎日新聞 2021/02/27



### 猫沼

笙野 頼子 著  
ステュディオ・パラボリカ

老いと病い。その向こうに突如あらわれる死。向かい合い、寄り添い、ゆめに書く。うもれても書く。共に暮らしたすべての猫に出会うために…。猫と一身に生きる笙野頼子の書き下ろし作品集。

2021:1./ 202p  
978-4-902916-43-0  
本体 ¥2,200〔税込〕



東京・中日新聞 2021/02/27





### そこに工場があるかぎり

小川 洋子 著

集英社

国内唯一の競技用ボート、ベビーカー、大人の色鉛筆…。日本の繊細でユニークなものづくりの愛おしさと本質、携わる人々の思いを伝える珠玉の工場見学エッセイ。山口硝子製作所、桑野造船など全6社の訪問記を収録。

東京・中日新聞 2021/02/28

2021:1./ 205p

978-4-08-781694-5

本体 ¥1,540〔税込〕



### ロッキード

真山 仁 著

文藝春秋

日本を揺るがした大疑獄の「真犯人」とは。なぜ角栄は葬られたのか。裁判官、特捜検事、秘書、全日空関係者らの多数の証言をもとに、「ロッキード神話」の真実を明らかにする。『週刊文春』掲載を大幅加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2021/02/28

2021:1./ 591p

978-4-16-391303-2

本体 ¥2,475〔税込〕



### ずばり東京 2020(筑摩選書 0200)

武田 徹 著

筑摩書房

開高健の名作「ずばり東京」から約半世紀、2020年五輪準備に明け暮れる中でコロナショックに見舞われた東京の姿を、2年以上にわたる取材で浮かび上がらせる。『論座』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

東京・中日新聞 2021/02/28

2020:12./ 296p

978-4-480-01720-8

本体 ¥1,870〔税込〕



### ジャンプ〜他十一篇〜(岩波文庫 32-802-1)

ナディン・ゴードイマ、柳沢 由実子 著

岩波書店

白人の立場から人種差別批判の作品を発表しつづけた南アフリカのノーベル賞作家ナディン・ゴードイマ。アパルトヘイト全廃が法的に決定した後の、新しい社会へと移行する人びとの動揺や不安の心理を描いた珠玉の短篇集。

読売新聞 2021/02/07

2014:10./ 338p

978-4-00-328021-8

本体 ¥990〔税込〕



### TIMELESS 石岡瑛子とその時代

河尻 亨一 著

朝日新聞出版

前田美波里をスターにした資生堂のポスター、大ブームになったパルコの広告。それらを手がけた後に渡米し、アカデミー賞に輝いたデザイナー、石岡瑛子。彼女を「主人公」として物語る、表現者たちとその時代のストーリー。

読売新聞 2021/02/07

2020:11./ 541p 図版

32p

978-4-02-251734-0

本体 ¥3,080〔税込〕



### 歪んだ名画〜美術ミステリーアンソロジー〜(朝日文庫 せ 11-1)

千街 晶之 編

朝日新聞出版

立石の営む古美術店に、なじみの客から大量の骨董品を売りたいと申し出があった。それらの品にはある秘密が隠されていて…。掛物、陶磁器、絵画など美術にまつわるミステリーを集めた、古今の名手による短編アンソロジー。

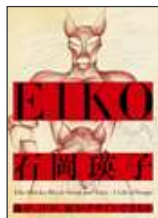
読売新聞 2021/02/07

2021:1./ 378p

978-4-02-264979-9

本体 ¥968〔税込〕





**石岡瑛子 血が、汗が、涙がデザインできるか**

小学館 著

小学館

初期の広告やポスターなどから、オペラや映画での衣装デザインまで、石岡瑛子のデビューから世界的デザイナーになるまでの全貌を俯瞰する。東京都現代美術館にて2020年11月?2021年2月開催展覧会の図録。

2021:2./ 336p

978-4-09-682342-2

本体 ¥3,500〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**庭(新潮文庫 お-95-3)**

小山田 浩子 著

新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15の物語を収録する。

2021:1./ 299p

978-4-10-120543-4

本体 ¥649〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**こどもホスピスの奇跡～短い人生の「最期」をつくる～**

石井 光太 著

新潮社

余命少ない子供が治療から離れ、家族と生涯忘れえぬ思い出を作れる場を、との願いから大阪に誕生した「こどもホスピス」。実現に向け立ち上がった人たちのこれまでとこれからを綴る。『小説新潮』連載に加筆修正し単行本化。

2020:11./ 269p

978-4-10-305457-3

本体 ¥1,705〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**谷崎潤一郎を知っていますか～愛と美の巨人を読む～**

阿刀田 高 著

新潮社

深い見識と大胆気ままな筆致を併せ持つ孤高の天才・谷崎潤一郎。美意識のおもむくまま大胆に筆をふるった文豪の主要作のストーリーと勘所を明快に解説する。作品評価のバランスチャート付き。『小説新潮』連載を単行本化。

2020:11./ 347p

978-4-10-334331-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**安心社会から信頼社会へ～日本型システムの行方～(中公新書)**

山岸 俊男 著

中央公論新社

読売新聞 2021/02/07

1999:6./ 253p

978-4-12-101479-5

本体 ¥836〔税込〕



**博物館ななめ歩き**

久世 番子 著

文藝春秋

町の小さな博物館から広大な古墳博物館まで、東京を中心に各地のとっておきの博物館 94 館をユーモアあふれるイラストで紹介する。『文部科学時報』『ぶんかる』等連載をまとめて単行本化。

2020:10./ 205p

978-4-16-391273-8

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**アニメと鉄道ビジネス～キャラクターが地域と鉄道を進化させる～ (交通新聞社新書 147)**

栗原景 著  
交通新聞社

アニメと鉄道のコラボレーションが盛り上がっている。その起源から今日までの道のりを、様々な事例と当事者へのインタビューを交えながらひもとく。キャラクタービジネスと鉄道の結びつきについての取材・レポートも掲載。

2020.12./ 271p  
978-4-330-08320-9  
本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**人魚の嘆き・魔術師 復刻**

谷崎 潤一郎 著  
春陽堂書店

谷崎潤一郎の初期小説「人魚の嘆き」「魔術師」に水島爾保布が挿絵を施し、大正8年に春陽堂から版行された本を、当時の風合いをそのままに復刻。前田恭二の解説を付す。

2020.12./ 110p  
978-4-394-90390-1  
本体 ¥3,960〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**和食の地理学～あの美味を生むのはどんな土地なのか～ (平凡社新書 962)**

金田 章裕 著  
平凡社

米、野菜、日本茶、調味料、漬物、果物、海産物。そして近年、著しい品質向上が目される日本ワイン。これらの美酒佳肴はどのように生まれているのか。日本の地理・地勢から「人間と食の関係」を探求する。

2020.12./ 222p  
978-4-582-85962-1  
本体 ¥946〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**ルポルタージュイスラムに生まれて～知られざる女性たちの私生活～**

読売新聞中東特派員 著  
ミネルヴァ書房

勉学、恋愛、結婚、仕事、家族、子供…。イスラムの女性たちは、成長とともに直面する課題や問題にどう向き合い、どのように乗り越えようとしているのか。中東事情をわかりやすく解説しながら、イスラム圏の実像を紹介する。

2020.12./  
14p,267p,3p  
978-4-623-09021-1  
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**コンヴァージェンス・カルチャー～ファンとメディアがつくる参加型文化～**

ヘンリー・ジェンキンズ／渡部 宏樹／北村 紗衣 著  
晶文社

メディア研究の第一人者が<コンヴァージェンス>理論を用いトランスメディアの複雑な関係を読みとく書。ファンと産業界が切り開いてきた豊かな物語世界の軌跡を辿り、参加型文化にこれからの市民社会を築く可能性を見出す。

2021.2./ 553p  
978-4-7949-7248-4  
本体 ¥4,070〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



**きらめく拍手の音～手で話す人々とともに生きる～**

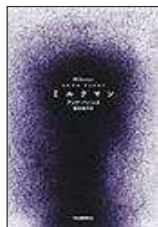
イギル・ボラ 著  
リトル・モア

音の聞こえないろう者の両親のもとに生まれた、聞こえる子=コーダ。映画監督、作家で、「コーダ」である著者が、ろう者と聴者、2つの世界を行き来しながら生きる葛藤とよこびを、巧みな筆致で綴る。

2020.12./ 285p  
978-4-89815-532-5  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/07



### ミルクマン

アンナ・バーンズ 著

河出書房新社

政治、宗教、暴力で分断された70年代終わりの北アイルランド。ベルファストに住む名前の無い主人公が、18歳のときに「ミルクマン」なる男の目にとまり、つきまとわれて心身ともに壊れそうになる約2か月間の物語。

2020:11./ 391p

978-4-309-20813-8

本体 ¥3,740〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、朝日新聞 2021/02/20、日本経済新聞 2021/02/20



### 太平天国～皇帝なき中国の挫折～(岩波新書 新赤版 1862)

菊池 秀明 著

岩波書店

清朝打倒をめざした太平天国と、その鎮圧のために組織された曾国藩の湘軍。両者の戦いの詳細を丹念にたどり、中国の近代化をめぐる道程に光をあてるとともに、皇帝支配という権威主義的統治のあり方を問い直す。

2020:12./

13p,256p,5p

978-4-00-431862-0

本体 ¥946〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、朝日新聞 2021/02/27



### 絶滅危惧個人商店

井上 理津子 著

筑摩書房

個人商店は「町の宝」だ！食料品、衣類、質屋、銭湯…。チェーン店やアウトレットに負けずに、個人で商売を続ける店を訪ね歩いた記録。店主たちの歴史を伝える。『ちくま』連載に加筆・編集して単行本化。

2020:12./ 223p

978-4-480-81856-0

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、東京・中日新聞 2021/02/14



### 顔の考古学～異形の世界史～(歴史文化ライブラリー 514)

設楽 博己 著

吉川弘文館

土偶、仮面、埴輪、土器…。「顔」を意匠とする造形品には、古代人のいかなるメッセージが込められていたのか。抜歯やイレズミ、笑いの誇張表現、装身具などを分析し、顔への意識の変化と社会的背景を明らかにする。

2021:1./ 7p,238p

978-4-642-05914-5

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、日本経済新聞 2021/02/20



### 子育ての経済学～愛情・お金・育児スタイル～

鹿田 昌美 編

マティアス・ドゥプケ／ファブリツィオ・ジリボッティ 著

慶應義塾大学出版会

この数十年、先進国の子育てが全体的に“過保護”へと変わっていったのはなぜか？日本でも注目される「教育の経済学」の分野でトップクラスの経済学者が、豊富なデータと精緻な実証分析で真理に迫る。

2020:12./

9p,368p,40p

978-4-7664-2711-0

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、日本経済新聞 2021/02/20



### 「共食」の社会史

原田 信男 著

藤原書店

同じ時に、同じ場所で、同じものを食べる「共食」。「孤(個)食」が社会問題化し、またコロナ禍の中で「会食」のあり方が問われている今、日本史において「共食」を通じて結ばれてきた様々な“絆”とその変遷を辿る。

2020:12./ 424p

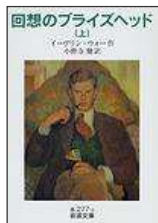
978-4-86578-297-4

本体 ¥3,960〔税込〕



読売新聞 2021/02/07、日本経済新聞 2021/02/20





**回想のブライズヘッド<上>(岩波文庫 赤 277-2)**

イーヴリン・ウォー 著

岩波書店

第2次大戦中、物語の語り手ライダーはブライズヘッドという広大な邸宅の敷地に駐屯する。「ここは前に来たことがある」。この侯爵邸の次男でライダーの大学時代の友セバスチアンをめぐる、華麗で、しかし精神的苦悩に満ちた青春の回想のドラマが始まる。20世紀イギリスの作家ウォー(1903-66)の代表作。

読売新聞 2021/02/14

2009:1./ 303p

978-4-00-322772-5

本体 ¥924〔税込〕



**デモクラシーの整理法(岩波新書 新赤版 1859)**

空井 護 著

岩波書店

政治の主役たちに伝授する、デモクラシーの考え方・使い方。政治の定義から始め、デモクラシーとはいかなる政治の仕組みか、「古典風」と「現代風」という2つのタイプをいかに使い分けるのかを解き明かす。

読売新聞 2021/02/14

2020:12./ 3p,240p

978-4-00-431859-0

本体 ¥924〔税込〕



**若ゲのいたり〜ゲームクリエイターの青春〜<2>**

田中 圭一 著

KADOKAWA

ガンダム無双、ゼビウス、イナズマイレブン…。1980?90年代、ゲーム業界の「青春期」に大奮闘したクリエイターたちの、熱い思い出と開発秘話を漫画でレポートする。『電ファミニコゲーマー』連載を書籍化。

読売新聞 2021/02/14

2021:2./ 180p

978-4-04-109076-3

本体 ¥1,320〔税込〕



**女性差別はどう作られてきたか(集英社新書 1052)**

中村 敏子 著

集英社

長年、ホップズや福沢諭吉研究に携わってきた著者が、女性差別が生まれるまでの過程を、政治思想史の観点から分析。西洋と日本で異なるその背景を「家父長制」という概念により読み解く。

読売新聞 2021/02/14

2021:1./ 190p

978-4-08-721152-8

本体 ¥858〔税込〕



**解放〜ナンシーの闘い〜(集英社文庫 キ 17-1)**

イモジェン・キーリー 著

集英社

第二次大戦期、ドイツ占領下のフランスで、レジスタンス組織を指揮した実在の女性がいた。ナチスに捕らえられた夫の身を案じ、夫への愛を胸に秘めながら、ドイツへの抵抗運動を戦い抜いた、知られざるヒロインの物語。

読売新聞 2021/02/14

2021:1./ 479p

978-4-08-760770-3

本体 ¥1,320〔税込〕



**百年前の日本〜モース・コレクション／写真編〜**

小西 四郎／岡 秀行 著

小学館

82年10月にアメリカ、セイラム・ピーボディ博物館を現地取材し、保存されていた写真を複製したものの中から300点を厳選し、掲載。21世紀を迎えた今、モースの残した写真が再び語り始める。83年刊の普及版。

読売新聞 2021/02/14

2005:1./ 211p

978-4-09-563015-1

本体 ¥4,180〔税込〕





### 文字渦(新潮文庫 え-24-2)

円城 塔 著

新潮社

始皇帝の陵墓づくりに始まり、道教、仏教、分子生物学、情報科学を縦横に、変化を続ける「文字」を主役として繰り広げられる連作集。小説の新たな地平を拓いた 12 編。

2021.2./ 417p

978-4-10-125772-3

本体 ¥781〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 赤いモレスキンの女(CREST BOOKS)

アントワヌ・ローラン 著

新潮社

赤いモレスキンの手帳を拾った書店主の男。そこに書き連ねられた心象世界に魅せられた男は、わずかな手がかりを頼りに落とし主を探しはじめるのだが…。パリを舞台にした洒落な大人のおとぎ話。

2020.12./ 188p

978-4-10-590170-7

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 1984 年に生まれて

カ 景芳 著

中央公論新社

1984 年。父は出奔し、私は生まれた。2006 年。大学卒業前に進路を見失った軽雲は、父の暮らすプラハに来ていた。二つの時代の中国社会に翻弄され、父と娘は人生の分岐をさまよいつづける…。自伝の形をとった小説。

2020.11./ 408p

978-4-12-005355-9

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 横丁の戦後史～東京五輪で消えゆく路地裏の記憶～

フリート 横田 著

中央公論新社

横丁には庶民に活力を与える不思議な力がある。そんな「戦後」の呑み屋横丁が、東京五輪開催に際し、絶滅の危機に瀕している。路地徘徊家を自称する文筆家が、「みんな」で作った横丁の歴史を掘り起こす。

2020.12./ 293p

978-4-12-005368-9

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 桂馬の高跳び～坊っちゃん講師一代記～(中公文庫 か 92-1)

神田 山陽(二代目) 著

中央公論新社

多彩な趣味と遊興に明け暮れた明治生まれの「若旦那」が、芸の道へと飛び込んだ。講談を愛し、講談界再興を目指して柔軟な改革と挑戦を重ねた「革命家」二代目神田山陽の痛快な一代記。六代目神田伯山の解説も収録。

2020.12./ 357p

978-4-12-207002-8

本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### わたしの好きな季語

川上 弘美 著

NHK出版

行きつけだった居酒屋から、東京の四季おりおり、すこし人見知りな作家の日常まで。川上弘美ワールドを満喫しながら季語の奥深さを体感できる、俳句エッセイ集。全 96 篇を収録。『すてきにハンドメイド』連載を書籍化。

2020.11./ 207p

978-4-14-005714-8

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 美術の経済～“名画”を生み出すお金の話～(できるビジネス)

小川 敦生 著

インプレス

落書きのような「作品」がなぜ何億円もするのか? 贋作とわかったら価値が変わるのはなぜか? ダ・ヴィンチの報酬は? 元経済紙記者の美大教授が、お金とアートの切っても切り離せない関係を明かす。

2020:10./ 285p

978-4-295-00863-7

本体 ¥1,848〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### パンデミックの倫理学～緊急時対応の倫理原則と新型コロナウイルス感染症～

広瀬 巖 著

勁草書房

人工呼吸器やワクチンは誰に優先するべきか? 個人の自由はどこまで制限してよいのか? WHOで倫理指針の作成に参加した哲学者が、コロナ禍で表面化した倫理的問題をどう考えるか、論理の筋道をわかりやすく示す。

2021:1./

10p,158p,12p

978-4-326-15470-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### モーツァルト

K. バルト 著

新教出版社

読売新聞 2021/02/14

1984:12./ 150p

978-4-400-62337-3

本体 ¥1,760〔税込〕



### 世界のエリートが学んできた「自分で考える力」の授業 増補改訂版(PHP 文庫 84-1)

狩野 みき 著

PHP研究所

考える手順がわかれば、思考は深まる! 日本の授業で教えてくれなかった「考え抜く力」を、ハーバード大学の提唱するメソッド等を基に著者独自のノウハウで伝授。自分が読むべきページがわかる「Pre-Lesson」付き。

2020:12./ 300p

978-4-569-90095-7

本体 ¥869〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 私の戦後音楽史～楽士の席から～(平凡社ライブラリー)

林 光 著

平凡社

日本の戦後音楽を代表する作曲家・オペラ実践家である林光の若き日々の自伝。クラシックから出発した林が激動する社会に向き合い、独自の音楽を作り始める過程を丁寧に語る。78年晶文社刊「楽士の席から」の改題。

2004:12./ 451p

978-4-582-76521-2

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 感情史の始まり

ヤン・プランパー 著

みすず書房

感情とは、感情史とは何か。感情をめぐる社会構築主義と普遍主義を架橋し、グランドセオリーを描く試論。歴史学における感情の扱い方の手法と重要性を説く。用語解説や主要文献目録も収録。

2020:11./

432p,144p,13p

978-4-622-08953-7

本体 ¥6,930〔税込〕



読売新聞 2021/02/14



### 人志とたけし〜芸能にとって「笑い」とはなにか〜

杉田 俊介 著

晶文社

すべてが「ネタ」化する日常。なぜ、芸人が「現代の象徴」になっているのか。お笑い界に巻き起こった「地殻変動」とは。鋭利な視点で、お笑い×芸能から社会を読み解く。九龍ジョー、マキタスポーツらとの対談も収録。

読売新聞 2021/02/14

2020:12./ 293p

978-4-7949-7246-0

本体 ¥1,925〔税込〕



### 柳家さん喬一門本〜世にも奇妙なお弟子たち〜

さん喬と弟子たち／柳家さん喬／柳家喬太郎／柳亭左龍／柳家喬之助／柳家喬志郎／柳家小傳次／柳家さん助／柳家小平太／柳家小志ん／柳家?三郎／柳家さん花／柳家やなぎ／柳亭左ん坊／柳家小きち／ダーク広和 著

秀和システム

どんな想いを胸にして噺家の世界を選んだのか。なぜ柳家さん喬を師匠として選んだのか。落語という芸の世界へどんな憧れを描いて入ったのか。喬太郎、喬之助ら柳家さん喬一門の 14 人が綴る弟子入り志願物語。

読売新聞 2021/02/14

2021:1./ 239p

978-4-7980-6328-7

本体 ¥2,200〔税込〕



### 韓国演劇運動史

柳 敏榮 著

風響社

開化期、日帝時代、動乱、そして民主化。百余年の曲折を、演劇史の第一人者が、韓国社会と舞台の表裏から克明に描く。詳細な資料と聞き取りにより、低迷も隆盛も、そしてその素因も描ききった韓国演劇史の名著の完結。

読売新聞 2021/02/14

2020:12./ 734p

978-4-89489-283-5

本体 ¥4,400〔税込〕



### 海・呼吸・古代形象〜生命記憶と回想〜

三木成夫 著

うぶすな書院

解剖学のスペシャリストが贈る、生命の不思議の数々。受胎 32 日目から一週間の間に胎児がたどる水棲段階から陸棲段階への旅、肺呼吸達成の困難さが、今日私たちに残す影響(精神集中すると呼吸がとまってしまう)など、鋭い視点で進化の痕跡を追う。

読売新聞 2021/02/14

1992:8./ 236p

978-4-900470-06-4

本体 ¥2,670〔税込〕



### 中国生業図譜〜清末の絵入雑誌『点石斎画報』で読む庶民の“なりわい”〜

相田 洋 著

集広舎

4 千年の歴史が生んだ庶民の生業の大絵巻! 清末の中国の世情を細密に活写した絵入雑誌『点石斎画報』の職業・生業の記事を訳し、解説とともに収録する。「中国妖怪・鬼神図譜」の続編。

読売新聞 2021/02/14

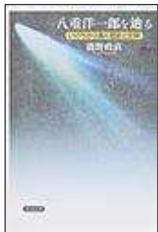
2020:12./ 297p

978-4-904213-96-4

本体 ¥3,850〔税込〕







### 八重洋一郎を辿る～いのちから衝く歴史と文明～

鹿野 政直 著  
洪水企画

アジア太平洋戦争さなかの 1942 年、石垣島に士族の末裔として生を享けた詩人・八重洋一郎。彼のこれまでの人生・詩業と精神の運動を、思想史の立場から読み解こうとした詩人論。

読売新聞 2021/02/14

2020:1./ 201p  
978-4-909385-17-8  
本体 ¥1,980〔税込〕  
\* 9 7 8 4 9 0 9 3 8 5 1 7 8 \*



### 脳の大統一理論～自由エネルギー原理とはなにか～(岩波科学ライブラリー 299)

乾 敏郎、阪口 豊 著  
岩波書店

脳の情報処理の原理を説明する一般的理論「自由エネルギー原理」の考え方を概説。その上で、知覚、認知、運動、思考、意思決定、発達障害や精神疾患、進化、意識などが、この原理でどのように説明されているかを紹介する。

読売新聞 2021/02/21

2020:12./  
7p,125p,16p  
978-4-00-029699-1  
本体 ¥1,540〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 0 0 2 9 6 9 9 1 \*



### 哲おじさんと学くん～世の中では隔されているいちばん大切なことについて～(岩波現代文庫 学術 428)

永井 均 著  
岩波書店

自分をとりまく社会の成立に不思議さを感じる学くんの問いに、哲おじさんが答えることが、さらなる問いを生む。独自の哲学的問題をめぐる議論を対話形式で展開する哲学入門。著者と山下良道との対談の抜粋も収録。

読売新聞 2021/02/21

2021:1./ 18p,199p  
978-4-00-600428-6  
本体 ¥1,210〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 0 6 0 0 4 2 8 6 \*



### 林原めぐみのぜんぶキャラから教わった～今を生き抜く力～

林原 めぐみ 著  
KADOKAWA

忍部ヒミコ、早乙女らんま、ミンキーモモ、綾波レイ、リナ・インバース、ムサシ、灰原哀…。声優・林原めぐみが、これまで演じてきた幾多のキャラクターたちと、彼・彼女たちから受け取ったものについて語る。

読売新聞 2021/02/21

2021:2./ 263p  
978-4-04-109252-1  
本体 ¥1,980〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 2 5 2 1 \*



### 病気の日本近代史～幕末からコロナ禍まで～(小学館新書 374)

秦 郁彦 著  
小学館

日本における近代医療の歴史は各種の病気、難病の征圧をめざす国家的な総力戦の過程でもあった。歴史学の泰斗が近代日本における病気と医療の歴史を紐解く。新型コロナに関する新章などを大幅加筆して新書化。

読売新聞 2021/02/21

2021:2./ 494p  
978-4-09-825374-6  
本体 ¥1,320〔税込〕  
\* 9 7 8 4 0 9 8 2 5 3 7 4 6 \*



### 書きたい人のためのミステリ入門(新潮新書 889)

新井 久幸 著  
新潮社

書き手の視点を知れば、ミステリは飛躍的に面白くなる。長年、新人賞の下読みを担当し、伊坂幸太郎らと伴走してきた編集長が、ミステリの<お約束>を徹底的に解説する。読むほどにミステリの基礎体力が身につく入門書。

読売新聞 2021/02/21

2020:12./ 223p  
978-4-10-610889-1  
本体 ¥836〔税込〕  
\* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 8 8 9 1 \*



### 近代中国の日本書翻訳出版史

田 雁／中村 元哉 著

東京大学出版会

「漢訳日文図書総書目 1719?2011」のデータを統計的に分析。出版点数の推移、分野別の分布、有力な訳者・出版社の傾向といった視点から、近現代中国における日本書翻訳出版事業の全体像を示す。

読売新聞 2021/02/21

2020:12./ 6p,454p

978-4-13-026275-0

本体 ¥7,920〔税込〕



### 青い眼がほしい(ハヤカワ epi 文庫)

トニ・モリスン 著

早川書房

読売新聞 2021/02/21

2001:6./ 323p

978-4-15-120006-9

本体 ¥1,144〔税込〕



### ダーウィンの仏教、神～近代日本の進化論と宗教～

碧海 寿広 編

クリントン・ゴダール 著

人文書院

明治の幕開けとともにもたらされたダーウィンの進化論に、日本人はどう向き合ったか。仏教、神道、キリスト教、哲学、国体論…。明治から現代まで幅広い言説を博覧し、近代日本の思想を進化論への反応を軸に描き出す。

読売新聞 2021/02/21

2020:12./ 2p,406p

978-4-409-04114-7

本体 ¥4,950〔税込〕



### 名作なんか、こわくない(PHP 文芸文庫 ゆ 2-1)

柚木 麻子 著

PHP研究所

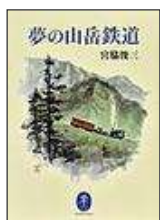
信じることをあきらめないエネルギー「女の一生」、恋の幕引きに漂う爽快感「返事はあした」、目を背けたい性分を描き切る「嵐が丘」…。57冊の読みどころとその本にまつわる著者の思い出を紹介するエッセイ集。

読売新聞 2021/02/21

2021:1./ 267p

978-4-569-90098-8

本体 ¥792〔税込〕



### 夢の山岳鉄道(ヤマケイ文庫)

宮脇 俊三 著

山と溪谷社

鉄道紀行の第一人者が全国の山岳鉄道を考察。上高地鉄道、富士山鉄道・五合目線など、日本の山岳地帯の環境保全と観光を両立させるために鉄道を走らせる「夢」を描いた名著。イギリス・スノウドン登山鉄道等も収録。

読売新聞 2021/02/21

2021:1./ 253p

978-4-635-04903-0

本体 ¥935〔税込〕



### ドローダウン～地球温暖化を逆転させる 100 の方法～

ポール・ホーケン、江守 正多、東出 顕子 著

山と溪谷社

地球温暖化を「逆転」させる具体的な方法を解説。食品の生産と消費、再生可能エネルギー、環境保全型農業、電気自動車、教育、水、森林、ネットゼロエネルギービルをカバーするほか、革新的な技術も紹介する。

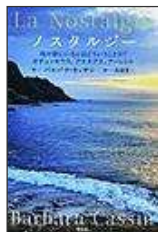
読売新聞 2021/02/21

2020:12./ 431p

978-4-635-31043-7

本体 ¥3,080〔税込〕





**ノスタルジー〜我が家にいるとはどういうことか？オデュッセウス、アエネアス、アーレント〜**

バルバラ・カッサン 著  
花伝社

人はいつ「我が家」にいると感じるのか。自分の故郷を離れ、自分の言葉を忘れざるを得なかった人々の抱く「ノスタルジー」とは。古代ギリシアのオデュッセウスやアーレントの経験から、故郷喪失をめぐる今日的議論を展開する。

2020:12./ 193p  
978-4-7634-0950-8  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**パンデミック下の書店と教室〜考える場所のために〜**

小笠原 博毅／福嶋 聡 著  
新泉社

新型コロナウイルスの感染拡大であらわになった民主主義、分断、格差の問題。この時代に本を読み、学び、社会について考えることの意味を、書店と教室の現場から問い直す往復書簡。『論座』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020:11./ 221p  
978-4-7877-2000-9  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**ビジュアル版 考古学ガイドブック(シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊 05)**

小野 昭 著  
新泉社

世紀の新発見、太古の人びとの暮らしの解明...夢やロマンをかきたてるようにいわれる考古学。だが、実際の研究はどうか。考古学とはどのような学問で、何を明らかにしようとしているのか、ビジュアルに解説する。

2020:11./ 93p  
978-4-7877-2030-6  
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**ラフカディオ・ハーンと日本の近代〜日本人の<心>をみつめて〜**

牧野 陽子 著  
新曜社

近代化のなかで問われた日本人の宗教的感性とは？ ハーン＝小泉八雲が見つめつづけたものを、彼自身の作品と、ウィリアム・グリフィス、イザベラ・バード、柳田國男、林芙美子らの小説や紀行文を通して明らかにする。

2020:12./ 390p  
978-4-7885-1700-4  
本体 ¥3,960〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**地図で読む松本清張**

北川 清／徳山 加陽／帝国書院編集部 著  
帝国書院

「ゼロの焦点」「砂の器」「点と線」「球形の荒野」...。松本清張作品のあらすじ、登場人物などとともに、舞台となった土地の昭和 30 年代当時の地図・風景を紹介する。作品と時代を結ぶ年表、映画・ロケ地探訪なども収録する。

2020:12./ 165p  
978-4-8071-6538-4  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**発話の権利**

定延 利之 編  
ひつじ書房

動かない車の中で「ブレーキ踏んでる!」は誰でも言えるが、「ブレーキ踏んでた!」は運転手にしか言えない。発言する権利はすべての人に平等であるということはほんとうなのか？ 人間の普遍性を言語研究が問う。

2020:12./ 6p,235p  
978-4-89476-983-0  
本体 ¥3,190〔税込〕



読売新聞 2021/02/21



**広島平和記念資料館は問いかける(岩波新書 新赤版 1861)**

志賀 賢治 著

岩波書店

被爆 75 年を前に開館以来最大規模の展示更新を行なった広島平和記念資料館。広島平和記念資料館前館長が、その意図や、資料館の起伏に富んだ歩みを紹介する。「あの日」を記録し伝え続ける博物館の軌跡と課題。

読売新聞 2021/02/28

2020:12./

13p,238p,10p

978-4-00-431861-3

本体 ¥946〔税込〕



**お金は「教養」で儲けなさい(朝日文庫 か 68-2)**

加谷珪一 著

朝日新聞出版

巨額の資産を築くお金持ちは「教養」をフル活用している!「稼いだければ大衆社会を理解せよ」「IT 起業家はなぜ東洋思想にハマるのか」など、経済評論家にして富裕層研究の第一人者が、「儲かる教養」の身につけ方を伝授。

読売新聞 2021/02/28

2021:1./ 264p

978-4-02-262042-2

本体 ¥770〔税込〕



**まくらが来りて笛を吹く**

春風亭一之輔 著

朝日新聞出版

「まくら」とは、落語の本編に入る前の導入のお喋り。芸能、コロナ、スポーツ…。落語家・春風亭一之輔が、さまざまなお題を「まくら」を語るようにつづります。『週刊朝日』連載をまとめて単行本化。

読売新聞 2021/02/28

2021:1./ 341p

978-4-02-331928-8

本体 ¥1,750〔税込〕



**汚れつちまつた悲しみに...~中原中也詩集~(角川文庫 な 5-3)**

佐々木 幹郎 編

中原 中也 著

KADOKAWA

日本の近代詩史に偉大な足跡を残した夭折の詩人中原中也。30 年の生涯で作られた詩の中に頻出した言葉、「生きる」「恋する」「悲しむ」を基軸に、制作年月推定順に作品を精選。中也の素顔を浮かび上がらせるアンソロジー。

読売新聞 2021/02/28

2016:10./ 253p

978-4-04-104914-3

本体 ¥616〔税込〕



**遺言未満、**

椎名 誠 著

集英社

もう終点に近い気配だ-。その時、何を見て、何を想い、どう果てるのか。 76。作家、ときどき写真家がカメラを抱えて迷い込んだ“エンディングノート”をめぐる 17 の旅。『青春と読書』連載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2021/02/28

2020:12./ 253p

978-4-08-781693-8

本体 ¥1,760〔税込〕



**片隅の人たち(中公文庫 と 37-1)**

常盤 新平 著

中央公論新社

植草甚一、都筑道夫、清水俊二…。1960 年代、翻訳出版の世界では個性豊かな面々が闊歩していた。直木賞作家が若き日に会った翻訳者の姿を描く自伝的連作集。関連エッセイ 2 篇を加えて文庫化。

読売新聞 2021/02/28

2021:1./ 260p

978-4-12-207020-2

本体 ¥946〔税込〕







**わたしの名は赤<上> 新訳版(ハヤカワepi文庫 66 ハ2-1)**

オルハン・パムク 著  
早川書房

1591 年冬。オスマン帝国の首都イスタンブールで細密画師が殺された。カラは、秘密裡に製作されている装飾写本の作業を監督する叔父の手助けをしているうちに、美貌の従妹シェキュレへの恋心を募らせていくが...

2012:1./ 431p  
978-4-15-120066-3  
本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



**わたしの名は赤<下> 新訳版(ハヤカワepi文庫 67 ハ2-2)**

オルハン・パムク 著  
早川書房

細密画師の惨殺事件に続き、第2の殺人が起きる。犯人の動機はあの装飾写本にあるのだと囁かれるなか、カラは犯人を探すことになった。しかし、一連の事件は、恋仲となったシェキュレとの新生活にも暗い影を落とすことに...

2012:1./ 444p  
978-4-15-120067-0  
本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



**マスクは踊る**

東海林 さだお 著  
文藝春秋

通販 CM のえげつなさに目を見張り、ズルばかりはびこる政治に赤面しつつ、コロナ禍のマスク顔観察に余念がなく...。東海林ワールド全開のエッセイに「タンマ君」傑作選を付す。『オール讀物』『週刊文春』掲載を単行本化。

2021:1./ 237p  
978-4-16-391324-7  
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



**実録昭和の大事件「中継現場」**

河出書房新社

成田闘争、東大安田講堂事件、よど号事件、浅間山荘事件...。日本テレビのアナウンサーだった著者が、1960?80年代の数々の事件で体験した「中継現場」の臨場感を伝える。

2020:11./ 253p  
978-4-309-02927-6  
本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



**コロナ対策各国リーダーたちの通信簿(光文社新書 1108)**

栗田 路子、ブラド 夏樹、田口 理穂 著  
光文社

新型コロナウイルスのパンデミックで、各国リーダーの指導力とコミュニケーション力が大いに試されることになった。海外に居住する日本人ジャーナリストたちが、リーダーの発言と市民の反応をまとめる。

2021:1./ 305p  
978-4-334-04516-6  
本体 ¥1,144〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



**2016年の週刊文春**

柳澤 健 著  
光文社

いま、日本で最も恐れられる雑誌『週刊文春』。花田紀凱と新谷学、ふたりの名編集長を軸に、昭和、平成、令和の週刊誌とスクープの現場を描く、痛快無比のノンフィクション。『小説宝石』連載を加筆修正し単行本化。

2020:12./ 525p  
978-4-334-95214-3  
本体 ¥2,530〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 鬼才～伝説の編集人齋藤十一～

森 功 著  
幻冬舎

『週刊新潮』『フォーカス』等を創刊。雑誌ジャーナリズムの生みの親にして、太宰治、松本清張ら大作家に畏怖された新潮社の天皇。稀代の天才編集者・齋藤十一の足跡を追う。『サンデー毎日』連載に加筆修正し単行本化。

2021:1./ 323p  
978-4-344-03728-1  
本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 紛争解決ってなんだろう(ちくまプリマー新書 366)

篠田 英朗 著  
筑摩書房

世界の紛争はどのように解決されているのか? 気鋭の国際政治学者が、争いに対して、なぜこういうものの見方をするのかという基本から説き起こした、紛争解決論入門。口語調でわかりやすく紛争解決論を学べる。

2021:1./ 207p  
978-4-480-68393-9  
本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 十二章のイタリア(創元ライブラリ L 3-1)

内田 洋子 著  
東京創元社

稀代の読書家・知の巨人エーコ氏との邂逅、山奥の本の行商人の村モンテレッジの人々…。イタリアとの往来 40 余年、常にイタリアの今を切り取って見せてくれる著者の、半世紀ともいべきエッセー集。

2021:1./ 250p  
978-4-488-07081-6  
本体 ¥880〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 恥さらし(エクス・リブリス)

パウリーナ・フローレス 著  
白水社

胸の奥にしまい込み、埋もれていたはずの「疚しい」記憶。1990 年代から現在までのチリを舞台に、社会の片隅で生きる女性や子どもの思いと現実をまばゆく描き出した 9 つの短篇を収録する。

2021:1./ 272p  
978-4-560-09065-7  
本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### デジタルエコノミーの罠～なぜ不平等が生まれ、メディアは衰亡するのか～

マシュー・ハインドマン 著  
NTT出版

デジタルエコノミーの本質は、自由で平等な競争ではなく、運が大きく左右し、勝者総取りが起こる非対称な世界。理論モデルと実証データを使って、なぜ各種のインターネット平等化議論がすべて幻想にすぎないかを示す。

2020:11./ 348p  
978-4-7571-2377-9  
本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 夢のホテルのつくりかた

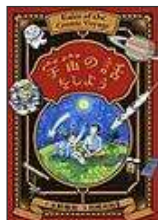
稲葉 なおと 著  
エクスナレッジ

新高輪プリンスホテル、ホテルニューグランド、学士会館、大阪ロイヤルホテル…。明治以降の日本のホテル史を俯瞰する、美しい名ホテル 38 軒。事業主、建築家、ホテルマンの情熱を精緻な写真とともに読み解く。

2020:12./ 319p  
978-4-7678-2811-4  
本体 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2021/02/28



### 宇宙の話をしよう

小野雅裕 著

SBクリエイティブ

NASA に勤める父が娘と語る、宇宙探査の物語。ジュール・ベルヌの心に宿った「何か」、ロシアのロケットの父のロケット方程式、史上初めて宇宙へ行った謎のロケット V2、宇宙への夢に忍び寄る戦争の影などを語る。

2020:11./ 239p

978-4-8156-0266-6

本体 ¥1,650[税込]



読売新聞 2021/02/28



### 地方の論理(岩波新書 新赤版 1855)

小磯 修二 著

岩波書店

地方に身を置き、世界の辺境の地の課題解決をも請け負ってきた著者が、自らの実践活動から得た気づきや、地方から生まれた新たな発想、ユニークな取り組みの数々を紹介。中央の発想にとらわれない、地方活性化のヒントが満載。

2020:11./

10p,232p,2p

978-4-00-431855-2

本体 ¥924[税込]



日本経済新聞 2021/02/06



### かるい生活(朝日文庫 む 8-5)

群ようこ 著

朝日新聞出版

漢方やリンパマッサージで体をかろくし、よけいな物やしがらみも捨てる。いらなくなった着物や本などを手放し、人間関係を整理する…。心身共に健康的になっていく日々を綴る爽快エッセイ。

2020:11./ 230p

978-4-02-262036-1

本体 ¥660[税込]



日本経済新聞 2021/02/06



### ダリウスは今日も生きづらい

アディーブ・コラム 著

集英社

家でも学校でも疎外感を覚える、ペルシア系アメリカ人のダリウス。母の故郷イランで、はじめての友達が出来るが…。民族や性的指向など多重のアイデンティティに悩む 16 歳の友情と成長を描く物語。

2020:12./ 405p

978-4-08-773508-6

本体 ¥2,640[税込]



日本経済新聞 2021/02/06



### 砂の器<上> 改版(新潮文庫)

松本 清張 著

新潮社

日本経済新聞 2021/02/06

2006:10./ 462p

978-4-10-110924-4

本体 ¥825[税込]



### 砂の器<下巻> 改版(新潮文庫 ま-1-25)

松本 清張 著

新潮社

人間は背負った宿命から逃れることはできない。善良この上ない元巡査を殺害した犯人は誰か?そして前衛劇団の俳優と女事務員殺しの犯人は?今西刑事は東北地方の聞き込み先で見かけた“ヌーボー・グループ”なる新進芸術家たちの動静に興味半分で見守るうちに断片的な事実が次第に脈絡を持ち始めたことに気付く…新進芸術家として栄光の座につこうとする青年の暗い過去を追う刑事の艱難辛苦を描く本格的推理長編である。

2006:10./ 506p

978-4-10-110925-1

本体 ¥880[税込]



日本経済新聞 2021/02/06



## 日本史の論点～邪馬台国から象徴天皇制まで～(中公新書 2500)

中公新書編集部 編

中央公論新社

今注目されている日本史の論点は何か、どこまで解明されたのか。「邪馬台国はどこにあったか」「応仁の乱は画期的なのか」「江戸時代は「鎖国」だったのか」「田中角栄は名宰相か」など、古代?現代の 29 の謎に迫る。

日本経済新聞 2021/02/06

2018:8./ 269p

978-4-12-102500-5

本体 ¥968〔税込〕



## オリーブ・キタリッジ、ふたたび

エリザベス・ストラウト 著

早川書房

怒りっぽく皮肉屋、しかし?然とするほど正直で、たまに驚くほどあたたかい。老境を迎えたオリーブの日々と、小さな港街の人々の悲喜こもごもを綴った短篇 13 篇を収録。「オリーブ・キタリッジの生活」続篇。

日本経済新聞 2021/02/06

2020:12./ 436p

978-4-15-209988-4

本体 ¥2,970〔税込〕



## 坂の上の雲<8> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

長引く戦争で、国力の尽きつつある日本。ロシアのバルチック艦隊が出動する。国家の命運を賭けた大海戦が始まった?。全巻完結

日本経済新聞 2021/02/06

1999:2./ 397p

978-4-16-710583-9

本体 ¥803〔税込〕



## 存在しない女たち～男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く～

キャロライン・クリアド＝ペレス 著

河出書房新社

衝撃のデータが世界の見方を変える! トイレ、オフィス、交通機関、税金、医療、災害現場...。一見「公平」に見える場所に隠された、思いもよらない男女格差のファクトに迫る。

日本経済新聞 2021/02/06

2020:11./ 419p

978-4-309-24983-4

本体 ¥2,970〔税込〕



## 人を動かす

D.カーネギー、山口 博 著

創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。多くの人々を励ましつづけてきた名著の文庫版。

日本経済新聞 2021/02/06

2016:2./ 318p

978-4-422-10098-2

本体 ¥715〔税込〕



## リ・イノベーション視点転換の経営～知識・資源の再起動～

米山 茂美 著

日本経済新聞出版社

強い企業を支えるリ・イノベーションの構造を解明。オープン・イノベーション、ユーザーとの共創、ダイバーシティ経営などを、既存の知識・資源を再起動させる新しい視点の提供策と位置付ける画期的な経営を提示する。

日本経済新聞 2021/02/06

2020:12./ 287p

978-4-532-32381-3

本体 ¥2,640〔税込〕







### 白い骨片～ナチ収容所囚人の隠し撮り～

クリストフ・コニエ 著

白水社

ナチ強制収容所の囚人たちによる命がけの「隠し撮り」を手がかりに、ホロコーストの歴史を無修正で物語る。映画「夜と霧」「ショア」の記憶を確かめるため、5つの収容所を実地調査した、戦慄の「写真論」。

2021:1./ 514p, 12p

978-4-560-09814-1

本体 ¥7,700〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06



### メンター・チェーン～ノーベル賞科学者の師弟の絆～

ロバート・カニーゲル 著

工作舎

科学者たちの栄誉の裏には、世襲ともいべき師弟の連鎖「メンター・チェーン」が存在していた！師弟間で繰り広げられる研究成果の争奪、女性研究者をめぐる激しい葛藤など、生々しい人間ドラマを浮き彫りにする。

2020:12./ 507p

978-4-87502-523-8

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06



### 農の同時代史～グローバル化・新基本法下の四半世紀～

岸 康彦 著

創森社

転換期の農と食。誰がどう支えるか。折々の重要な証言、データを丹念に紡ぎながら、1995年から2020年春までの「農業・農村」の内実と潮流を具体的に照らし出す。年表などの資料も収載。

2020:12./ 253p

978-4-88340-346-2

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06



### 文化大革命への道～毛沢東主義と東アジアの冷戦～

奥村 哲 著

有志舎

中国における社会主義の実体とは。中国政府の外交・内政の基礎にあった毛沢東らの危機意識の構造を軸に、中華人民共和国の誕生から文化大革命、そして改革開放政策に至るまでの過程を、東アジアの冷戦史の中で捉え直す。

2020:11./ 10p, 275p

978-4-908672-45-3

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06



### 調子悪くてあたりまえ～近田春夫自伝～

近田 春夫／下井草 秀 著

リトル・モア

日本のロック草創期に立ち会い、パンクを輸入し、ヒップホップを世に問い、CM音楽を星の数ほど量産した近田春夫。40時間にわたるインタビューや、秋元康、浅野忠信らの証言で、その半生を振り返る。

2021:1./ 340p

978-4-89815-536-3

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06、朝日新聞 2021/02/27



### 対米従属の構造

古関 彰一 著

みすず書房

安保が第一、憲法は第二…。指揮権密約から安保改正・沖縄返還交渉での核密約、自民党の憲法改正案、安保を支える国体思想まで、「対米従属」という観点から、戦後の日米関係を再検討する。

2020:12./ 338p

978-4-622-08965-0

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06、東京・中日新聞 2021/02/14



### スマホ脳(新潮新書 882)

アンデシュ・ハンセン 著

新潮社

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。

2020:11./ 255p

978-4-10-610882-2

本体 ¥1,078〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06、読売新聞 2021/02/21



### 『細雪』とその時代

川本 三郎 著

中央公論新社

ほぼ同時代に書かれた永井荷風の「?東綺譚」と時に対比させながら、阪神間を舞台としつつも、大阪の男の世界から離れた女性たちの物語として、「細雪」の世界を訪ね歩く。『中央公論』連載に加筆・修正。

2020:12./ 302p

978-4-12-005350-4

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/06、毎日新聞 2021/02/13



### 上杉鷹山〜「富国安民」の政治〜(岩波新書 新赤版 1865)

小関 悠一郎 著

岩波書店

半世紀に及ぶ粘り強い取り組みによって、窮乏する米沢藩を立て直した上杉鷹山。改革を担った家臣たちの思想と行動や、鷹山明君像の形成を新たな角度から描き出し、その改革を日本の歴史に位置づける。

2021:1./ 5p,239p,5p

978-4-00-431865-1

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



### 情報武装する政治

西田 亮介 著

KADOKAWA

インターネット登場以後、さらなる技術革新とその利活用により、政治家、政党の表層はスマートになり、「政治が見せたい姿」を巧みに装うようになっている。自民党を中心に各政党のメディア戦略の実態を解き明かす。

2018:3./ 186p

978-4-04-400286-2

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



### 崩れる政治を立て直す〜21世紀の日本行政改革論〜(講談社現代新書 2493)

牧原 出 著

講談社

政治と行政の崩落は国民を失意のどん底に陥れている。気鋭の政治学者が、政と官の制度設計は事前に考えられたものか、制度作動は順調かの原則論に基づきつつ、現安倍政権の政治主導、行政崩壊の核心に迫る。

2018:9./ 246p

978-4-06-513077-3

本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



### 政治改革再考〜変貌を遂げた国家の軌跡〜(新潮選書)

待鳥 聡史 著

新潮社

選挙制度、行政、日銀・大蔵省、司法制度、地方分権…。1990年代以降、日本の統治システムは改革の名のもと、静かに、しかし激しく変貌を遂げてきた。現在の政治を作り出した壮大な理念とその帰結を読み解く。

2020:5./ 314p,5p

978-4-10-603854-9

本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



### 自民党～「一強」の実像～(中公新書 2428)

中北 浩爾 著  
中央公論新社

2012 年に政権に復帰し、一強状態にある自民党。関係者へのインタビューや数量的なデータなどを駆使し、多様な視角から包括的に分析。政権復帰後の自民党の特異な強さと脆さを徹底的に明らかにする。

日本経済新聞 2021/02/13

2017:4./ 4p,313p  
978-4-12-102428-2  
本体 ¥968[税込]



### 新型コロナの科学～パンデミック、そして共生の未来へ～(中公新書 2625)

黒木 登志夫 著  
中央公論新社

世界を一変させた新型コロナウイルス。治療薬やワクチン開発を含む研究の最前線を紹介し、膨大な資料からその正体を探る。さらに、見えない敵に立ち向かう医療現場のドラマも描き、日本政府の対応にも鋭く迫る。

日本経済新聞 2021/02/13

2020:12./ 7p,326p  
978-4-12-102625-5  
本体 ¥1,034[税込]



### 現代日本の代表制民主政治～有権者と政治家～

谷口 将紀 著  
東京大学出版会

日本政治が目まぐるしく動くなか、有権者は政治に何を求め、政治家は人びとをどこに導こうとしているのか。長年にわたる有権者・政治家調査データ分析をもとに、日本の代表制民主政治の在り方を実証的に論じる。

日本経済新聞 2021/02/13

2020:3./ 4p,322p  
978-4-13-030171-8  
本体 ¥6,380[税込]



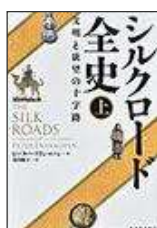
### 新自由主義の暴走～格差社会をつくった経済学者たち～

ビンヤミン・アッペルバウム 著  
早川書房

1960 年代以降、アメリカの市場原理主義を推し進めた経済学者達が、政府の政策決定にどんな影響を及ぼしたかを検証。経済保守主義者が規制緩和を唱え、自由競争を称揚した結果、超格差社会が生まれた過程を明らかにする。

日本経済新聞 2021/02/13

2020:12./ 582p  
978-4-15-209989-1  
本体 ¥4,290[税込]



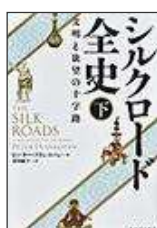
### シルクロード全史～文明と欲望の十字路～<上>

ピーター・フランコパン 著  
河出書房新社

その道を制する者が世界を制す-絹を金を、石油を、病や戦争を、そして神を運んだ道シルクロード。まさに人間を見つめ続けてきたこの道の壮大な歴史を描く。上は、アレクサンドロス大王、十字軍、大航海時代などを取り上げる。

日本経済新聞 2021/02/13

2020:11./ 382p  
978-4-309-22814-3  
本体 ¥3,960[税込]



### シルクロード全史～文明と欲望の十字路～<下>

ピーター・フランコパン 著  
河出書房新社

その道を制する者が世界を制す。絹を金を、石油を、病や戦争を、そして神を運んだ道シルクロード。まさに人間を見つめ続けてきたこの道の壮大な歴史を描く。下は、石油争奪戦、独ソ戦、湾岸戦争、アルカイダなどを取り上げる。

日本経済新聞 2021/02/13

2020:11./ 388p  
978-4-309-22815-0  
本体 ¥3,960[税込]





**チツソは私であった〜水俣病の思想〜(河出文庫 お 40-1)**

緒方 正人 著  
河出書房新社

なぜ加害者を赦すのか? 水俣病を「文明の罪」として背負い直した先に浮上する真の救済を描いた伝説的名著に、石牟礼道子による著者評「常世の舟」を増補して文庫化。

2020:12./ 261p  
978-4-309-41784-4  
本体 ¥1,210[税込]



日本経済新聞 2021/02/13



**バナナ・ビーチ・軍事基地〜国際政治をジェンダーで読み解く〜**

シンシア・エンロー 著  
人文書院

性産業、食品加工工業、軍事基地、外交の場まで。世界の不平等が凝縮された場所から、国境を越えて女性が連帯し、平等で平和な社会を実現するには。背景の異なる様々な女性の声に耳をすませた鮮やかな政治学的分析。

2020:11./ 483p  
978-4-409-24134-9  
本体 ¥6,380[税込]



日本経済新聞 2021/02/13



**自公政権とは何か〜「連立」にみる強さの正体〜(ちくま新書 1408)**

中北 浩爾 著  
筑摩書房

2016 年の参院選以降、衆参両院で過半数を占める自民党は、単独政権が可能なのに、なぜ連立を解消しないのか? 自公政権を中心に多角的な分析を行い、強さの理由を解き明かす。

2019:5./ 364p  
978-4-480-07216-0  
本体 ¥1,100[税込]



日本経済新聞 2021/02/13



**MMT は何が間違いなのか?〜進歩主義的なマクロ経済政策の可能性〜**

ジェラルド・A・エプシュタイン 著  
東洋経済新報社

MMT は救世主なのか。閉塞状態を抜け出す経済学・金融政策とは何か。米金融政策の権威で「経済の金融化」研究の第一人者が、MMT(現代貨幣理論)は本当に経済政策に適用できるのかを考察する。

2020:12./ 215p,42p  
978-4-492-65492-7  
本体 ¥3,080[税込]



日本経済新聞 2021/02/13



**冷たい戦争から熱い平和へ〜プーチンとオバマ、トランプの米露外交〜<上>**

マイケル・マクフォール 著  
白水社

オバマ政権で米露関係の「リセット」を立案し、「ロシアの民主化と西側への統合」を推進した政治学者が回想する、知られざる外交の裏舞台とは? 米露外交の過酷な現実を赤裸々に綴ったノンフィクション。

2020:12./ 314p,23p  
978-4-560-09815-8  
本体 ¥3,960[税込]



日本経済新聞 2021/02/13



**冷たい戦争から熱い平和へ〜プーチンとオバマ、トランプの米露外交〜<下>**

マイケル・マクフォール 著  
白水社

オバマ政権で米露関係の「リセット」を立案し、「ロシアの民主化と西側への統合」を推進した政治学者が回想する、知られざる外交の裏舞台とは? 米露外交の過酷な現実を赤裸々に綴ったノンフィクション。

2020:12./ 303p,42p  
978-4-560-09816-5  
本体 ¥3,960[税込]



日本経済新聞 2021/02/13





## リターンズ〜二十一世紀に先住民になること〜

ジェイムズ・クリフォード 著

みすず書房

滅びるどころか世界各地で可視化する「先住民」運動の本質を、節合・パフォーマンス・翻訳をキーワードに理論的に分析。先住民による新たなアイデンティティ戦略を、民族誌的・歴史的リアリズムで描出する。

2020:12./ 372p,26p

978-4-622-08962-9

本体 ¥5,940〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



## カンマの女王〜「ニューヨーカー」校正係のここだけの話〜

メアリ ノリス 著

柏書房

正しい英語とはなんだろう？ カンマの思想とは？ 鬼校正者はどこを見る!? アメリカの老舗雑誌『ニューヨーカー』の校正係メアリ・ノリスによる、細かすぎてユーモラスな校正エッセイ。

2020:12./ 285p

978-4-7601-5259-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



## 経済成長の日本史〜古代から近世の超長期 GDP 推計 730-1874〜

高島 正憲 著

名古屋大学出版会

奈良時代から近代初頭にいたる日本列島経済の展開を一望。最貧国水準を抜け出し、1人あたりGDPが着実な上昇に転じていく過程を、災害・飢饉・環境・都市化なども視野に解明する。

2017:10./ 6p,339p

978-4-8158-0890-7

本体 ¥5,940〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



## 企業不正の調査報告書を読む〜ESGの時代に生き残るガバナンスとリスクマネジメント〜

安岡 孝司 著

日経BP社

誰が、何を、どうやってチェックすれば、不正を防止できるのか？ 企業不正の事例を分析するとともに、不正防止の考え方、ガバナンスやリスクマネジメントのチェックポイント、不正防止力を高める社会の仕組みなどを紹介する。

2020:12./ 383p

978-4-8222-8909-6

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



## アルマ

J・M・G・ル・クレジオ 著

作品社

自らの祖先に関心を寄せ、島を調査に訪れる研究者フェルサン。彼と同じ血脈の末裔に連なる、浮浪者同然に暮らすドードー。モーリシャス島を舞台とする、数多の生者たち、亡霊たちの物語。父祖の地を描く、著者のライフワーク。

2020:11./ 331p

978-4-86182-834-8

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13



## おれたちの歌をうたえ

呉 勝浩 著

文藝春秋

友が遺した五行の詩。連絡を待ちわびていた元刑事は、それが自分達への伝言だと気づく。40年前のあの日の真実を求めて、執念の捜査が始まった。友情を諦めなかった男たちの、悔恨と希望の物語。

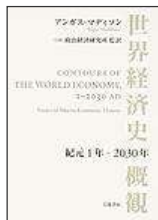
2021:2./ 598p

978-4-16-391327-8

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/13、産経新聞 2021/02/14



## 世界経済史概観～紀元1年-2030年～

アンガス・マディソン、政治経済研究所 著

岩波書店

世界各地の実質 GDP の歴史統計に基づき、西暦1年から2030年までの世界経済史の輪郭を描きだし、数量的経済分析の研究史とそこでの論争を紹介。また、2030年の世界経済を大胆に予測する。

2015:6./ 9p,503p

978-4-00-061033-9

本体 ¥8,140〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



## 俳諧大要 改版(岩波文庫 緑13-7)

正岡 子規 著

岩波書店

『ホトギス』により、写生俳句を提唱、俳句革新の道を邁進し、今日あらためて高く評価されている子規の俳論集。子規の俳句観の最良の要約といわれる「俳諧大要」をはじめ、蕪村を再発見した「俳人蕪村」、「古池の句の弁」、「俳句の初歩」、「俳句上の京と江戸」の五篇を精選。加藤楸邨「子規の今日的意義」を付す。

1983:9./ 268p

978-4-00-310137-7

本体 ¥704〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



## 役人学三則(岩波現代文庫)

末弘 厳太郎、佐高 信 著

岩波書店

日本経済新聞 2021/02/20

2000:2./ 217p

978-4-00-603007-0

本体 ¥880〔税込〕



## マザリング～現代の母なる場所～

中村 佑子 著

集英社

子のいる人もいない人も、世代や性別を超え、他者の揺らぐ命に寄り添うことができたら。妊娠出産期の経験をすくいあげ、ケアをめぐる普遍的思考を紡ぐ。『すばる』連載を改題・加筆し書籍化。

2020:12./ 309p

978-4-08-771734-1

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



## ローマ人の物語<8> ユリウス・カエサル ルビコン以前(上)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2021/02/20

2004:8./ 215p

978-4-10-118158-5

本体 ¥539〔税込〕



## ローマ人の物語<9> ユリウス・カエサル ルビコン以前(中)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2021/02/20

2004:8./ 279p

978-4-10-118159-2

本体 ¥572〔税込〕



## ローマ人の物語<10> ユリウス・カエサル ルビコン以前(下)(新潮文庫)

塩野 七生 著

新潮社

日本経済新聞 2021/02/20

2004:8./ 236p

978-4-10-118160-8

本体 ¥572〔税込〕





### 新型コロナからいのちを守れ!〜理論疫学者・西浦博の挑戦〜

西浦 博／川端 裕人 著

中央公論新社

未知のウイルスとの闘い、サイエンス・コミュニケーションへの挑戦、政治家・官僚との葛藤…。厚生労働省クラスター対策班の理論疫学者が、「科学者の社会的使命とは何か?」を自らに問いながら走り抜いた半年間の記録。

2020:12./ 292p

978-4-12-005359-7

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### 水素エコノミー〜エネルギー・ウェブの時代〜

ジェレミー・リフキン、柴田 裕之 著

NHK出版

水素エネルギーは、環境問題を解決するだけでなく、新しい形の世界経済ももたらす。化石燃料を持つ地域だけが富めるシステムを脱し、エネルギーを世界的規模で民主化する水素エネルギー・ウェブ (HEW) の構築を提唱する。

2003:4./ 342,23p

978-4-14-080784-2

本体 ¥2,310〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### 眼の神殿〜「美術」受容史ノート〜(ちくま学芸文庫 キ 30-1)

北澤 憲昭 著

筑摩書房

高橋由一の「螺旋展画閣」。その形象をなぞるようにして、「美術」概念の受容にまつわる思考が結晶化してゆく。制度・施設史を支柱として、さまざまな次元にわたる明治期の史料がざわめきたつライブ感に充ちた歴史叙述。

2020:12./ 460p

978-4-480-51023-5

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### 特務(Special Duty)〜日本のインテリジェンス・コミュニティの歴史〜

リチャード・J・サミュエルズ 著

日本経済新聞出版社

「ファイブ・アイズ」加盟か、情報機関の再構築か。明治から敗戦、冷戦時代、現代まで、日本の 100 年におよぶインテリジェンス・コミュニティの歴史を考察。直近の改革が日本の安全保障にもたらし得る結果を明らかにする。

2020:12./ 499p

978-4-532-17686-0

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### 権力(Power)に翻弄されないための 48 の法則<上>(フェニックスシリーズ 37)

ロバート・グリーン、ユースト・エルファーズ、鈴木 主税 著

パンローリング

古代中国からルネサンス期のイタリアまで、傑出した偉人たちが残した権力の扱い方に関する含蓄のある言葉を集め、そのエッセンスを 48 の法則として紹介。上は、「本当の目的は隠しておけ」など 26 の法則を収録。

2016:9./ 380p

978-4-7759-4156-0

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### 権力(Power)に翻弄されないための 48 の法則<下>(フェニックスシリーズ 38)

ロバート・グリーン、ユースト・エルファーズ、鈴木 主税 著

パンローリング

古代中国からルネサンス期のイタリアまで、傑出した偉人たちが残した権力の扱い方に関する含蓄のある言葉を集め、そのエッセンスを 48 の法則として紹介。下は、「努力は人に見せるな」など 22 の法則を収録。

2016:9./ 397p

978-4-7759-4157-7

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/20



### ソラミツ～世界初の中銀デジタル通貨「バコン」を実現したスタートアップ～

宮沢 和正 著  
日経BP社

日本初のブロックチェーン「ハイパーレンジャーいろは」で、カンボジアの中銀デジタル通貨を実現する！カンボジアの CBDC 導入までの経緯を詳細に解説。日本における CBDC の方向性や可能性についても取り上げる。

日本経済新聞 2021/02/20

2020:12./ 224p  
978-4-8222-8910-2  
本体 ¥1,980〔税込〕



### 日本の論点～Global Perspective and Strategic Thinking～<2021?22>

大前 研一 著  
プレジデント社

コロナ対策で露呈した地方リーダーたちの明確な実力差、香港を切り捨てたたかな中国とのつきあい方…。大前研一が、さまざまな論点を取り上げて語る。『プレジデント』連載「日本のカラクリ」を加筆修正し再構成。

日本経済新聞 2021/02/20

2020:12./ 365p  
978-4-8334-2395-3  
本体 ¥1,760〔税込〕



### まだ見ぬ映画言語に向けて

吉田 喜重／舩橋 淳 著  
作品社

映画とは何か。映像とは何か。吉田喜重と舩橋淳、年齢差 41 歳の 2 人の映画作家が、自らの監督作と日本/世界の映画を語り、映画/映像の本質について、その深淵を徹底的に考察する。対談イベントを基に文章を追記し書籍化。

日本経済新聞 2021/02/20

2020:12./ 459p  
978-4-86182-832-4  
本体 ¥3,960〔税込〕



### 「徴用工」問題とは何か～朝鮮人労働動員の実態と日韓対立～(中公新書 2624)

波多野 澄雄 著  
中央公論新社

「徴用工」問題を、歴史的事実、総動員体制、戦後処理、植民地主義、歴史認識、国際法理解などに腑分けして解説。日本統治下の朝鮮人労働者の実態から、今なぜ「徴用工」問題が浮上したかまでを描き、日韓和解の糸口を探る。

日本経済新聞 2021/02/20、毎日新聞 2021/02/27

2020:12./ 6p,246p  
978-4-12-102624-8  
本体 ¥902〔税込〕



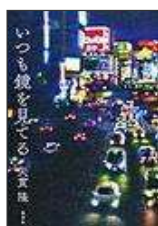
### 地図づくりの現在形～地球を測り、図を描く～(講談社選書メチエ 741)

宇根 寛 著  
講談社

地図がかつて、そして今、どのようにつくられ、使われてきたか。これからどのような変化をたどっていくか。それぞれの地図にどんな意図がこめられているのか…。国土地理院の地図職人が、変貌する地図の世界を語る。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 251p  
978-4-06-522384-0  
本体 ¥1,870〔税込〕



### いつも鏡を見てる

矢貫 隆 著  
集英社

オイルショックからバブル経済、新型コロナウイルスまで。昭和、平成、令和の 3 時代を通じ、常に時代に翻弄されて、走り続けるタクシードライバーたちのドラマチックな人生ドキュメント。

日本経済新聞 2021/02/27

2020:12./ 269p  
978-4-08-788049-6  
本体 ¥1,760〔税込〕







### 経済学者たちの日米開戦～秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く～(新潮選書)

牧野 邦昭 著

新潮社

なぜ無謀な対米開戦は防げなかったのか。一流経済学者を擁する陸軍の頭脳集団「秋丸機関」の研究を通じて、「正確な情報」が「不合理な意思決定」につながる過程を辿り、エリートたちが陥った「痛恨の逆説」を解き明かす。

日本経済新聞 2021/02/27

2018:5./ 270p

978-4-10-603828-0

本体 ¥1,430〔税込〕



### リープフロッグ～逆転勝ちの経済学～(文春新書 1292)

野口 悠紀雄 著

文藝春秋

経済発展の遅れていた国が先進国を飛び越える「リープフロッグ」が増えている。中国やアイルランドの事例、逆転の連続だった覇権争いの歴史から、日本経済復活の道を探る。

日本経済新聞 2021/02/27

2020:12./ 286p,8p

978-4-16-661292-5

本体 ¥990〔税込〕



### 19世紀イタリア怪奇幻想短篇集(光文社古典新訳文庫 KAハ10-1)

橋本 勝雄 編

光文社

世紀をまたいで魅力が見直される作家たちの傑作を集めた、19世紀イタリアの怪奇幻想短篇集。野生の木苺を食べたことがきっかけで、男爵の心と体が二重の感覚に支配されていく「木苺のなかの魂」など、全9作品を収録する。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 332p

978-4-334-75437-2

本体 ¥1,100〔税込〕



### 駒形丸事件～インド太平洋世界とイギリス帝国～(ちくま新書 1543)

秋田 茂、細川 道久 著

筑摩書房

インド人移民の上陸が拒否され、多数の死者をコルカタで出した「駒形丸事件」。この事件を紹介しながら、移民史・政治史・経済史などと融合させ、19世紀末から第一次世界大戦にかけての新しい世界史像を提示する。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 270p

978-4-480-07359-4

本体 ¥946〔税込〕



### 世界経済の成長史1820～1992年～199カ国を対象とする分析と推計～

アンガス・マディソン、金森 久雄、政治経済研究所 著

東洋経済新報社

1820年以降から、約2世紀にわたる世界199カ国の経済発展の実績を国別・地域別・世界合計の人口、実質GNP、1人当りGDPを推計して年別に示し、経済成長の要因を詳細に分析したデータベース。

日本経済新聞 2021/02/27

2000:7./ 370p

978-4-492-44256-2

本体 ¥5,280〔税込〕



### パンデミック後の世界 10 の教訓

ファリード・ザカリア 著

日本経済新聞出版社

政治、経済、デジタル化、米中二極体制、グローバル化、不平等…。来るべき世界の姿とは。生活はどう変わるのか。賢明な選択とは。パンデミック後の世界を理解するための豊富なヒントを示す。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 399p

978-4-532-35863-1

本体 ¥2,200〔税込〕





### 英語原典で読むシュンペーター

根井 雅弘 著  
白水社

英雄的な企業家によるイノベーションから資本主義の崩壊過程まで、20 世紀が生んだ天才経済学者シュンペーターの英語原典を味わいながら、その思想や学説に迫る。彼独特の資本主義観の全容も丁寧に捉える。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:2./ 230p  
978-4-560-09820-2  
本体 ¥2,750〔税込〕



### アーカイブの思想～言葉を知に変わる仕組み～

根本彰 著  
みすず書房

日本ではアーカイブが必須の社会基盤とみなされていないのではないかと。社会におけるアーカイブの意味と重要性を思想・文化・教育史から跡づけ、デジタルネットワーク社会の開かれた知の源泉としての課題と可能性を照らす。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 296p,13p  
978-4-622-08970-4  
本体 ¥3,960〔税込〕



### 地球に月が2つあったころ

エリック アスフォーグ 著  
柏書房

惑星科学者の著者が、太陽系のダイナミックな動きに合わせて、それぞれの現象や実情を地質学的な見地も交え解説。月の表と裏で地形が異なるのは、かつて 2 つの月が融合したためという、月の成り立ちの物語への答えも示す。

日本経済新聞 2021/02/27

2020:12./ 446p  
978-4-7601-5286-5  
本体 ¥3,080〔税込〕



### 今こそ読みたいガルブレイス(インターナショナル新書 066)

根井 雅弘 著  
集英社インターナショナル

1970 年代、アメリカの経済学者ガルブレイスの著書「不確実性の時代」は世界的ベストセラーになった。恐慌や貧困など現代に通じる難問を取り上げたガルブレイスの著書を丹念に読み解き、現代の難問と未来へのヒントを探る。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:2./ 189p  
978-4-7976-8066-9  
本体 ¥880〔税込〕



### サイバークレートゲーム～政治・経済・技術とデータをめぐる地政学～

土屋 大洋 著  
千倉書房

各国の経済活動、民主主義に対するサイバー攻撃は常態化しつつあるが、そこには地政学的リスクが色濃く現れている。安全保障、選挙介入、サプライチェーン、外交など各分野に迫る危機の実情を分析する。

日本経済新聞 2021/02/27

2020:12./ 14p,201p  
978-4-8051-1223-6  
本体 ¥3,740〔税込〕



### 人類と感染症、共存の世紀～疫学者が語るペスト、狂犬病から鳥インフル、コロナまで～

デイビッド・ウォルトナー＝テプズ 著  
築地書館

新興感染症の波が次々と襲ってくるのはなぜか。感染症の培養器となっている工場型畜産から、感染症を運ぶ渡り鳥やペットまで、グローバル化した人間社会が構造的に生み出す新興感染症とその対応を平易・冷静に描く。

日本経済新聞 2021/02/27

2021:1./ 324p  
978-4-8067-1611-2  
本体 ¥2,970〔税込〕





### 2030 年～すべてが「加速」する世界に備えよ～

ピーター・ディアンディス／山本 康正 著

ニューズピック

テクノロジーの“融合”によって、大変化は予測より早くやってくる。AI から空飛ぶ車、遺伝子編集まで、テクノロジーが関わる分野を包括的に網羅。前提条件を説明した上で、「未来」を現実的に予測する。

2020:12./ 445p

978-4-910063-13-3

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/02/27



### 方丈記 新訂(岩波文庫)

鴨 長明、市古 貞次 著

岩波書店

毎日新聞 2021/02/06

1989:5./ 151p

978-4-00-301001-3

本体 ¥638〔税込〕



### 中国法～「依法治国」の公法と私法～(集英社新書 1043)

小口 彦太 著

集英社

対中ビジネスを行ううえで不可欠な中国法。先進的な民法、人権無視の憲法・刑事法...なぜ中国法は複雑な相貌を有するのか。具体的な裁判例に即して、その謎を解く。

2020:11./ 254p

978-4-08-721143-6

本体 ¥946〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### 熊楠～生命と霊性～

安藤 礼二 著

河出書房新社

未曾有のスケールで世界的にして未来的な思想を探り出した巨人・南方熊楠。その可能性を鈴木大拙、井筒俊彦、そして世界と共振させる中から、未来の哲学をたちあげる。30 年をかけた熊楠探求の総決算にして新たな転回の一書。

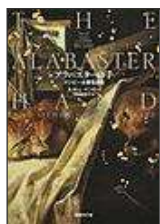
2021:1./ 253p

978-4-309-02849-1

本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### アラバスターの手～マンビー古書怪談集～

A・N・L・マンビー／紀田 順一郎 著

国書刊行会

少年を誘う不気味な古書店主、呪われた聖書台の因果、ジョン・ディーの魔術書の怪...。ケンブリッジ大学図書館フェロー、英国書誌学会長を務めた特異な経歴の作家による、異色の古書怪談集。全 14 篇を収録する。

2020:9./ 260p

978-4-336-07034-0

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### 現場の判断、経営の決断～宇宙開発に見るリスク対応～

山浦 雄一 著

日本経済新聞出版社

宇宙探査、有人宇宙活動、宇宙輸送システム(ロケット)の 3 分野から題材を取り上げ、困難に挑み苦難を乗り越えた「チーム丸」の活動と、それを支え、実現させた現場の「判断」、経営の「決断」とリーダーシップを紹介する。

2020:12./ 403p

978-4-532-32374-5

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### アル中ワンダーランド(扶桑社文庫 ま 19-1)

まんきつ 著

扶桑社

幻覚・被害妄想・記憶障害、そして、まさかのポロリ!? 漫画家・イラストレーターのまんきつが、アル中になってから完治するまでをシュールなテイストで描く。おまけ漫画「その後のアル中」、吉本ばななの対談も収録。

2020:9./ 191p

978-4-594-08623-7

本体 ¥715〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### ざわめきのなかわらいころげよ

岡本 啓 著

思潮社

もう一度 呼ぶ 息よりもっと小さな声で だれかが呼びつづけた地名を 地名のそよぐ野のはてを そこではまだ わたしの影がまだ歩いているから(「ほどなく来る」より) 詩集。

2020:12./ 168p

978-4-7837-3730-8

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### なぜ「よそ者」とつながることが最強なのか～生存戦略としてのネットワーク経済学入門～

戸堂 康之 著

プレジデント社

グローバル化で経済は成長するのか。所得格差は拡大するのか。ネットワーク経済学や、社会心理学、行動経済学の研究成果をフルに活用し、今後激動する世界で個人や企業が生存し成長していくためにとるべき戦略を提示する。

2020:12./ 223p,14p

978-4-8334-2392-2

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### 甦る、抵抗の季節～安保闘争六〇周年・記念講演会記録～

記念講演実行委員会 著

言視舎

60 年安保闘争の評価とは? 安保闘争 60 周年記念講演会の記録。2020 年 6 月、コロナ禍のなか決行されたノンフィクション作家・保阪正康と作家・高橋源一郎の 2 つの講演と討議を収録する。関係資料も掲載。

2021:1./ 127p

978-4-86565-195-9

本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### 本と体

高山 なおみ 著

KTC中央出版

「ゼロになるからだ」「わたしのおいわたのとき」「うさぎのまんが」…。食とことばの料理家・高山なおみが綴った、26 冊の感想文を収録。画家・中野真典らとの対談も掲載する。『読売新聞』連載をもとに、加筆して単行本化。

2020:9./ 309p

978-4-87758-809-0

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06



### チェーホフの山

工藤 正廣 著

未知谷

流刑者の労働と死によって育まれたサハリン。199X 年、チェーホフ山を主峰とする丘のサナトリウムをガスパジン・セッソンが訪れ…。先住民、囚人、移住農民、孤児。それぞれの末裔たちを介し、人がその魂で生きる姿を描く。

2020:11./ 279p

978-4-89642-626-7

本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/02/06





### バイオエピステモロジー序説

米本 昌平 著

書籍工房早山

細胞が不死なのはそれ自身が時間を循環させている小宇宙だからだ！ 晩成の思想家が、21世紀の自然哲学としての生命論、バイオエピステモロジーを展開する。

毎日新聞 2021/02/06

2020:12./ 357p

978-4-904701-55-3

本体 ¥2,640〔税込〕



### いつかたこぶねになる日～漢詩の手帖～

小津 夜景 著

素粒社

杜甫や李賀、白居易といった古典から、新井白石や夏目漱石など日本の漢詩人たちの作品、中国近代の詩人まで、フランス在住の俳人・小津夜景が、漢詩のある日々の暮らしをつづる。『ウラハイ』他掲載を書籍化。

毎日新聞 2021/02/06

2020:11./ 267p

978-4-910413-00-6

本体 ¥1,980〔税込〕



### じい散歩

藤野 千夜 著

双葉社

明石家は夫婦あわせてもうすぐ 180 歳。3 人の息子は全員独身で…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。『小説推理』『文学界』掲載を単行本化。

毎日新聞 2021/02/06、産経新聞 2021/02/07、東京・中日新聞 2021/02/14

2020:12./ 269p

978-4-575-24357-4

本体 ¥1,760〔税込〕



### 電柱鳥類学～スズメはどこに止まっている？～(岩波科学ライブラリー 298)

三上 修 著

岩波書店

電柱や電線で鳥は何をしている？ なぜ感電しない？ 電柱・電線の鳥に注目したら見えてきた、その知られざる生態、電力会社と鳥たちの終わりなき知恵比べ…。鳥と電柱、そして人のささやかなつながりを、第一人者が描き出す。

毎日新聞 2021/02/13

2020:11./ 7p,115p,3p

978-4-00-029698-4

本体 ¥1,430〔税込〕



### 科学とはなにか～新しい科学論、いま必要な三つの視点～(ブルーバックス B-2158)

佐倉 統 著

講談社

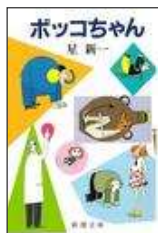
普遍的な知識の体系である科学だが、「いつでもどこでも正しい」わけではない。なぜか？ どう考えればいいのか？ 科学の意味を問い直す、新しい科学論。

毎日新聞 2021/02/13

2020:12./ 270p

978-4-06-522142-6

本体 ¥1,100〔税込〕



### ポッコちゃん 改版(新潮文庫)

星 新一 著

新潮社

毎日新聞 2021/02/13

1988:1./ 315p

978-4-10-109801-2

本体 ¥693〔税込〕





**内モンゴル紛争～危機の民族地政学～(ちくま新書 1546)**

楊 海英 著  
筑摩書房

内モンゴルの公教育からモンゴル語を排し、中国語を母語として押しつけた中国政府。なぜいま中国は内モンゴルで弾圧を強めているのか。民族地政学の視点から、モンゴル人の歴史上の問題と現在の紛争の実態を読み解く。

2021:1./ 216p  
978-4-480-07368-6  
本体 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



**台湾博覧会 1935 スタンプコレクション**

陳 柔縉 著  
東京堂出版

1935年の台湾で、日本の統治40周年を記念して開催された博覧会。お祭りムードにわいた街の商店等がこぞって作ったオリジナルのスタンプのコレクションから、当時の街の歴史や風俗を伝える。記念地図の複製の引換券付き。

2020:11./ 375p  
978-4-490-21042-2  
本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



**中国・アメリカ謎 SF**

柴田 元幸／小島 敬太 編  
柴田 元幸／小島 敬太 著  
白水社

謎マシン、謎世界コンタクト、謎の眠り...中国・アメリカの現代文学最前線から、インスピレーションで紡がれた偏愛の7篇の競演。王諾諾著「改良人類」、マデリン・キアリン著「降下物」ほか、編訳者2人による対談も収録。

2021:2./ 196p  
978-4-560-09799-1  
本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



**明治十四年の政変(インターナショナル新書 064)**

久保田 哲 著  
集英社インターナショナル

議会開設、憲法制定、金融制度など、明治国家のかたちを決定づけた明治十四年の政変。「複雑怪奇」と呼ばれる政変を、気鋭の政治史学者が近年の研究成果を盛り込みつつ鮮やかに読み解く。

2021:2./ 277p  
978-4-7976-8064-5  
本体 ¥1,012〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



**医療現場は地獄の戦場だった!～日本人医師がアメリカで体験したコロナ禍の緊急レポート～**

井上 理津子／大内 啓 著  
ビジネス社

ボストン在住の日本人医師が、新型コロナウイルス感染症の罹患者たちが大量に搬送されてくる病院の救急部において、命懸けで手当てに当たったリアルを振り返る。自身の歩いてきた道やアメリカの医療制度なども記す。

2020:11./ 202p  
978-4-8284-2237-4  
本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



### 書医あづさの手控(クロニクル)～書誌学入門ノベル!～

白戸 満喜子 著

文学通信

代々続く書医(書籍のお医者さん)の家に生まれたあづさは、早世した兄・葵に代わり、家業を継ぐことを決意。双子の妹・さくらとともに修行にまい進してゆく…。書誌学がわかる「浅利先生の書誌学講座」も収録。

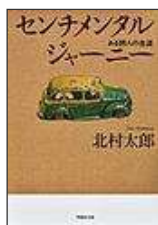
2020:12./ 279p

978-4-909658-41-8

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13



### センチメンタルジャーニー～ある詩人の生涯～(草思社文庫 き 2-1)

北村 太郎 著

草思社

懐かしい少年時代、詩へのめざめ、妻の死、晩年の恋、詩誌『荒地』の詩人たちの肖像など、生い立ちから最晩年までを赤裸々に語る。「生涯ひたすらに感覚を繊細にしつづけ言葉を厳密にしてきた詩人」の絶筆となった自伝。

2021:2./ 205p

978-4-7942-2499-6

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13、朝日新聞 2021/02/20、読売新聞 2021/02/21



### つかふ～使用論ノート～

鷺田 清一 著

小学館

ひとを、道具を、楽器を、「つかう」を介して人はどのように、ひとと、社会と、世界とかわっているのか。「つかう」という言葉の様相をさまざまな観点から考え抜いた哲学エッセイ。『本の窓』連載を元に書籍化。

2021:1./ 256p

978-4-09-388805-9

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/02/13、毎日新聞 2021/02/20



### かるいお姫さま

ジョージ・マクドナルド／モーリス・センダック 著

岩波書店

洗礼式に招かれなかった魔女の呪いで、身体も頭の中もかるくなってしまったお姫さま。王子さまに出会っても、心というものがさっぱりわからなくて…。マクドナルドならではののおとぎ話を、センダックの詩情豊かな絵が彩る。

2020:11./ 126p

978-4-00-116026-0

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/02/20



### 金の鍵

ジョージ・マクドナルド／モーリス・センダック 著

岩波書店

虹のたもとで金の鍵を見つけた男の子が出会ったのは、妖精の国に迷いこんだ女の子。ふたりは、その鍵で開けられる鍵穴を探して、不思議な旅を続けますが…。マクドナルドの傑作ファンタジーをセンダックが描く。

2020:11./ 96p

978-4-00-116027-7

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/02/20



### 僕のコーチはがんの妻

藤井 満 著

KADOKAWA

子どものいない 50 代夫婦。妻が末期がんになったら、家事が全くできない夫はどう生きればよいのか? 妻からの最後の贈り物=料理。鬼コーチの猛特訓が始まった…。『朝日新聞デジタル』連載に新規原稿を加えて書籍化。

2020:11./ 213p

978-4-04-109653-6

本体 ¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2021/02/20



**ファクトで読む 米中新冷戦とアフター・コロナ(講談社現代新書 2602)**

近藤 大介 著

講談社

巨大化する中国。迎え撃つ米国。親中でも反中でもなく、米中の「貿易戦争」「金融戦争」など<7つの戦争>を分析。日中韓台4カ国を俯瞰することで、日本の生き残り戦略を提示する。

毎日新聞 2021/02/20

2021:1./ 253p

978-4-06-522563-9

本体 ¥990〔税込〕



**墮落論(新潮文庫)**

坂口 安吾 著

新潮社

毎日新聞 2021/02/20

2000:5./ 322p

978-4-10-102402-8

本体 ¥572〔税込〕



**小説イタリア・ルネサンス<4> 再び、ヴェネツィア(新潮文庫 し-12-24)**

塩野 七生 著

新潮社

国政に復帰したマルコは、再びトルコと対峙する。絶対君主スレイマンが没すると、両国間には戦雲が立ち込め、ついには誰も望まなかった全面衝突に発展。レパント沖での大海戦は、その後の世界をたった1日で運命づけ…。完結。

毎日新聞 2021/02/20

2021:1./ 495p 図版 8枚

978-4-10-118124-0

本体 ¥1,320〔税込〕



**夜景座生まれ**

最果 タヒ 著

新潮社

愛することの水域。限界まで水位が上がり、失うのか手に入れるのか、これから。わからなくて、泣いてしまう。鳥も猫も泣いてしまう。(「衛星」より) 最果タヒの第8詩集。

毎日新聞 2021/02/20

2020:11./ 93p

978-4-10-353811-0

本体 ¥1,320〔税込〕



**孫基禎～帝国日本の朝鮮人メダリスト～(中公新書 2600)**

金 誠 著

中央公論新社

1936年のベルリン五輪マラソンの金メダリスト孫基禎は帝国日本、朝鮮民族の英雄となったが、2つのナショナリズムに利用・翻弄され…。スポーツ選手が国と民族を背負わされた20世紀、「英雄」とされた孫の生涯を描く。

毎日新聞 2021/02/20

2020:7./ 4p,212p

978-4-12-102600-2

本体 ¥880〔税込〕



**戦後民主主義～現代日本を創った思想と文化～(中公新書 2627)**

山本 昭宏 著

中央公論新社

アジア・太平洋戦争の悲惨な経験から、多くの支持を得た戦後民主主義も、近年は改憲論の前に守勢にある。戦後の制度改革、社会運動、政治家、知識人、映画などに着目し、戦後民主主義が日本社会に残した影響をたどる。

毎日新聞 2021/02/20

2021:1./ 8p,316p

978-4-12-102627-9

本体 ¥1,012〔税込〕







### テナント

バーナード・マラマッド 著  
みすず書房

1970 年冬のニューヨーク。立ち退きを迫られながら、新作完成まではと居座るユダヤ系作家レサーはたったひとりの住人...のはずが、空き部屋で誰かが書いている!?  
黒人ウィリーとの物書き同士の凄惨な対決がはじまる。

2021:1./ 251p

978-4-622-08975-9

本体 ¥3,080[税込]



毎日新聞 2021/02/20



### バクバクっ子の在宅記～人工呼吸器をつけて保育園から自立生活へ～

平本 歩 著  
現代書館

生後半年で呼吸器をつけ、バクバクっ子(人工呼吸器をつけた子)の在宅生活の草分けとして、保育園?高校、大学受験、講師をしたり遊んだり、親から独立し自立生活を開拓してきた著者の半生記。テキストデータ請求券付き。

2017:8./ 190p

978-4-7684-3558-8

本体 ¥1,760[税込]



毎日新聞 2021/02/20



### ピット・イン～すばらしきスピードの世界～

いしい しんじ 著  
三栄書房

F1、ラリー、GT...。作家いしいしんじが、親子二代で夢中になっているモータースポーツへの愛を綴る。『オートスポーツ』連載コラムに、アイルトン・セナに捧げる書き下ろし小説「ブルドッグのアイルトン」を加え単行本化。

2020:11./ 367p

978-4-7796-4275-3

本体 ¥2,970[税込]



毎日新聞 2021/02/20



### 宇宙飛行士選抜試験～ファイナリストの消えない記憶～(SB 新書 529)

内山 崇 著  
SBクリエイティブ

宇宙飛行士選抜試験。日本で唯一、宇宙飛行士として生きる夢に挑戦できる場所。スペースシャトルにあこがれて宇宙エンジニアになった著者が、全身全霊を傾けて挑んだ選抜試験への挑戦と、その後の12年の葛藤を描く。

2020:12./ 287p

978-4-8156-0522-3

本体 ¥990[税込]



毎日新聞 2021/02/20



### 新プロパガンダ論(ゲンロン叢書 008)

辻田 真佐憲／西田 亮介 著  
ゲンロン

社会学者・西田亮介と近現代史家・辻田真佐憲によるまったく新しい安倍長期政権分析。現代日本のプロパガンダ(政治広報、情報戦略)をめぐる、2018年4月?2020年9月に5回に渡って行われた対談を加筆修正し書籍化。

2021:1./ 253p

978-4-907188-40-5

本体 ¥1,980[税込]



毎日新聞 2021/02/20



### 高瀬庄左衛門御留書

砂原 浩太郎 著  
講談社

神山藩で、郡方を務める高瀬庄左衛門。50を前にして妻子を失い、息子の嫁とともに、寂寥と悔恨の中に生きていた。しかし、藩の政争の嵐が庄左衛門を襲い...。人生の苦渋と生きる喜びを丁寧に描く。

2021:1./ 335p

978-4-06-519273-3

本体 ¥1,870[税込]



毎日新聞 2021/02/20、産経新聞 2021/02/21



### ロヒンギャ危機〜「民族浄化」の真相〜(中公新書 2629)

中西 嘉宏 著

中央公論新社

2017年の国軍による掃討作戦以降、大量のロヒンギャ難民が発生し、100万人が隣国のキャンプで暮らす。複雑な歴史的背景やミャンマーをめぐる国内・国際政治を通し、アジア最大の人道・人権問題の全貌を示す。

2021:1./ 5p,252p

978-4-12-102629-3

本体 ¥968[税込]



毎日新聞 2021/02/20、読売新聞 2021/02/21



### うんちの行方(新潮新書 893)

神館 和典/西川 清史 著

新潮社

大量のうんちはトイレからどこへどう流れて行くのか? どこで浄化されるのか? 鉄道や船はどう処理する? もしマンション全戸で一斉に流したら? うんちについてのあらゆる疑問を徹底取材。

2021:1./ 185p

978-4-10-610893-8

本体 ¥792[税込]



毎日新聞 2021/02/27



### 空海の風景<上巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著

中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75年中央公論社刊の新装改版。上巻。

2005:6./ 347p

978-4-12-003645-3

本体 ¥1,980[税込]



毎日新聞 2021/02/27



### 空海の風景<下巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著

中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75年中央公論社刊の新装改版。下巻。

2005:6./ 384p

978-4-12-003646-0

本体 ¥1,980[税込]



毎日新聞 2021/02/27



### 野球にときめいて〜王貞治、半生を語る〜(中公文庫 お 95-1)

王 貞治 著

中央公論新社

ガキ大将だった少年時代、家族への思い、「一本足打法」の誕生、長嶋茂雄の意外な素顔…。世界のホームラン王として、また監督として、半世紀にわたり日本の球界をリードしてきた王貞治が、野球人生を振り返る。

2020:12./ 269p

978-4-12-207001-1

本体 ¥924[税込]



毎日新聞 2021/02/27



### 読む時間

アンドレ・ケルテス、渡辺 滋人 著

創元社

寄り添って本を読む少年たち、ベンチで新聞を読む男性、本が積まれた窓辺…。20世紀の最も創造的で、影響力のある、多産な写真家の一人、アンドレ・ケルテスの古典的作品集。

2013:11./ 75p

978-4-422-70060-1

本体 ¥2,420[税込]



毎日新聞 2021/02/27



**むかしむかしあるところに、哲学者がやってきた。～7つの昔話で学ぶ日本一おもしろい哲学入門～**

小川 仁志/谷口 崇 著

高橋書店

「その桃だれのもの?」「浦島太郎は偽善者か」「鶴を助けたのは下心?」…。7つの昔話の登場人物と、歴史上の哲学者の哲学問答をマンガで描く。わかりやすい題材を使って、「所有権」「実存主義」など有名な哲学思想を紹介。

2021:1./ 237p

978-4-471-19131-3

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/02/27



**1つの定理を証明する99の方法**

フィリップ・オーディング 著

森北出版

ある何の変哲もない定理を、中世ヨーロッパ時代の証明、現代数学を駆使した証明、言葉を使わない証明、音楽による証明、映画のシナリオ風の証明、手話による証明など、99通りもの方法で「証明」する。

2021:2./ 9p,274p

978-4-627-06261-0

本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2021/02/27



**にほんでいきる～外国からきた子どもたち～**

毎日新聞取材班 編

明石書店

日本語が理解できず社会の中で孤立する子どもたち…。外国籍の子どもたちの教育の実態を調査し、行政を動かす原動力となった『毎日新聞』のキャンペーン報道を加筆し書籍化。政策の現状と課題も記す。

2020:12./ 267p

978-4-7503-5119-3

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/02/27



**河田嗣郎の男女平等思想～近代日本の婦人問題論とジェンダー～**

亀口まか 著

現代書館

「良妻賢母主義」の女子教育や「母性主義」を批判し、性別の社会的構築性に着目した議論を展開した河田嗣郎。彼の著書・論文・記事を精査し、その思想が現代のジェンダー論につながる先駆性を持っていたことを明らかにする。

2020:11./ 269p

978-4-7684-7983-4

本体 ¥4,180〔税込〕



毎日新聞 2021/02/27



**愛をばらまけ～大阪・西成、けったいな牧師とその信徒たち～**

上村 真也 著

筑摩書房

いくら裏切られても<愛>をあきらめない、型破りな牧師。居場所を失い困窮し、たどり着いた約20人の信徒たち。路地裏の小さな教会をめぐる魂のノンフィクション。『読売新聞』大阪本社版連載を加筆し書籍化。

2020:11./ 196p

978-4-480-81855-3

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/02/27、読売新聞 2021/02/28